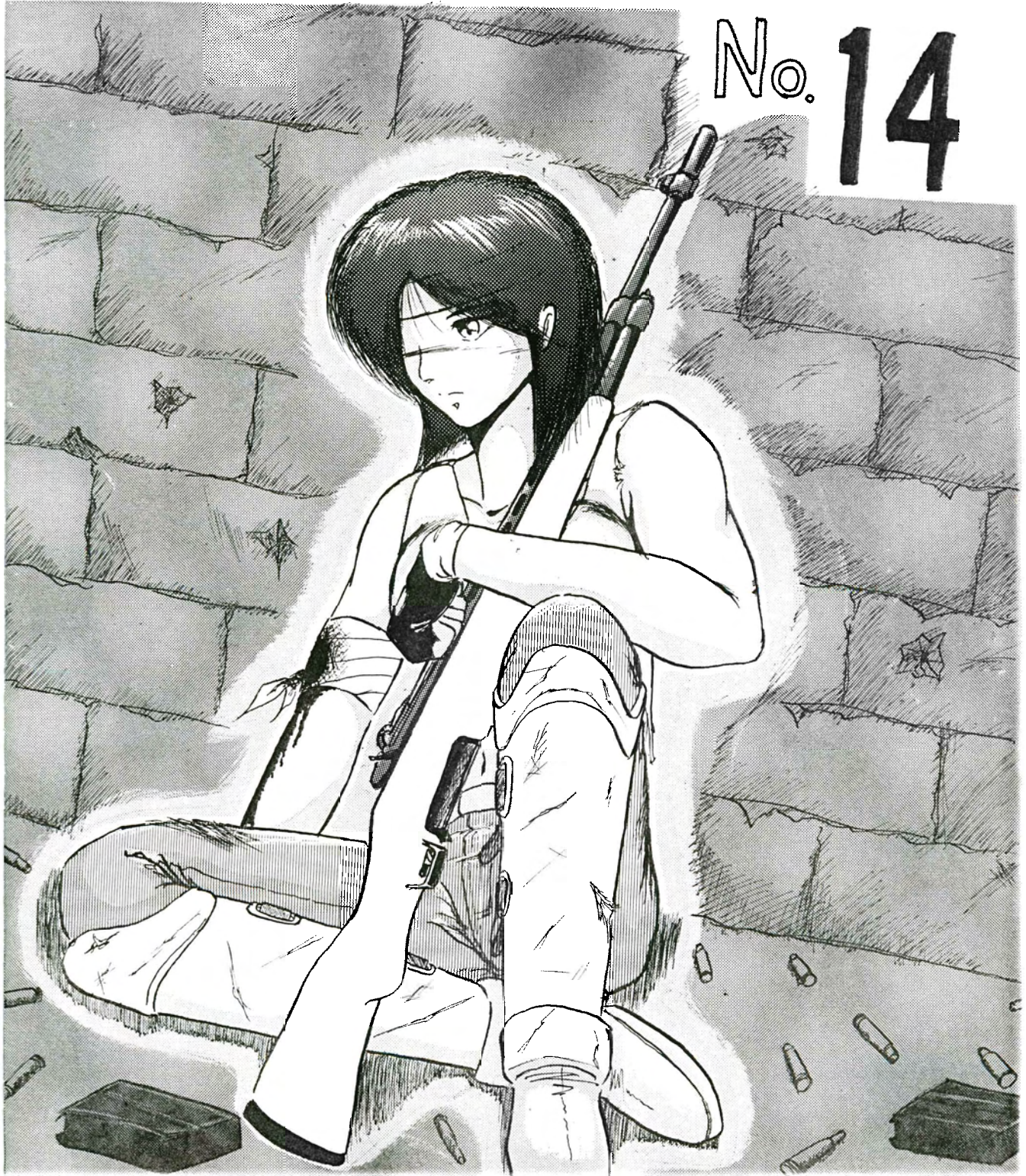


BLOWERS

No. 14



乗 船 口

3	終戦間近?空戦PBM SONIC DIVER	文・正宗征士 絵・井村和正
10	学園PBM真鶴学園風雲録 全体リプレイ 真鶴レポート	文・岬当麻 絵・セージ
25	《三等雑居室》	
29	迷想装甲擲弾症候群	紺野紫楼
31	DS-DOS	空技廠横浜評議会

- ※「真鶴学園風雲録」に参加するためには、別売りのルールブック（送料込み200円）が必要です。今回は真鶴レポート参照の上、4/15までに追加行動を送って下さい。
- ※「SONIC DIVER」は終了間近のため、新規参加を締めきっています。
- ※「PEACE PRESSER MAYA」は、新しいイラストレーターとの交渉中です。かなりの率で漫画化できそうです。（でもちょっと危ないかも知れない）
- ※「LOOK OUT!」は筆者多忙のため、休載しています。
- ※「Mental Ranger」は筆者の落ち度により、休載しました。

船 長 室 by 本居こじ

広告うった訳でもないのに、どうした事が新しい読者が増えてるんで、こらでこれだけはハッキリさせとこう。

俺は、凡人です。あなた達と何ら変わるところはありません。むしろあなた達より無能なのかもしれない。過大な期待をぶつけられれば潰れるし、無闇に文句を言われれば腐る。ほめ言葉ばかりだと凶に乗る。そんな厄介な人間です。

この本だって、そこらにいるような凡人が、伊達と酔狂で出しているものにすぎない。同人誌のプロ(?)が出している訳じゃあ、決してない。何が言いたいのかって?愚痴はたくさんだ?ごもつとも。愚痴を好き好んで聞きたい奴はそういない。俺だって嫌だ。

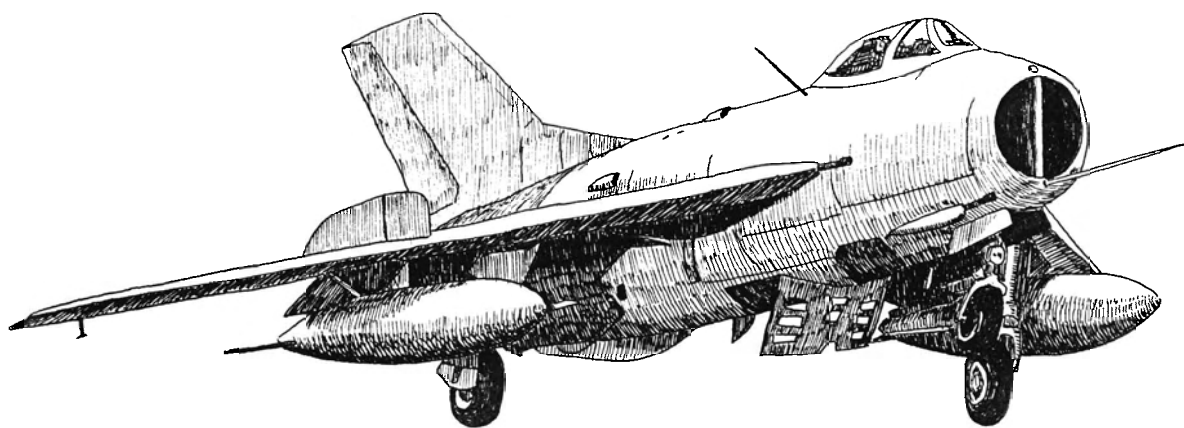
ぶっちゃけた話、この本は、俺だけが作っているんじゃない、て事。確かに製本して、発送しているのはこの俺、菊地研一郎、メインペンネームは「本居こじ」という人物だ。しかしそれだけじゃない。こんな粗末な装丁の本にわざわざ切手込み650円もの大金をつぎ込んで、物好きな、「あなた」という存在があるんです。でも今のこの本に、「あなた」の姿は見えてますかい?少なくとも俺はそうは思わない。……え?それはお前がその場所を用意していないからだ?冗談言ってもらっちゃ困る。何のために「三等雑居室」があると思ってんの?場所がないとは言わせないよ。コーナーがない?だから言うてるでしょう、俺は凡人だって。あなた達と同じだって。あなた達にできないことは、俺にもできないんだってば。もしやりたい事があつたら、とにかく表に出して言ったらどうなんだい。大金出してるんだから、その程度の権利は充分にあるんだよ。「何かやれ!」てのは無責任すぎて、相手にできないけどね。

あっちゃこっちゃんの同人誌で言い古されてる言葉だけど、俺も言わせてもらおう。

「この本は、あなた達も動いて、ようやく完成する本なのです」

こない景気悪い時期やさげ、ちったあモト取り戻さんと、あかんぞ。

SONIC DIVER



イザベリア海軍航空隊

☆戦果報告

《本国基地》

ガルマン大佐：「ブニユの確保」そのものは達成されている。これは今でも変わらないが、
 よりにもよって油田の方が手のつけようもないほどメチャメチャにされた。上の方では
 どうも、これ以上ブニユにこだわるよりも、「新戦略」の実施を選択したようだ。それ
 が何かは私も知らんがね。（意味深な笑み）制空戦の方は、若干こちらの方が押してい
 るようだ。

《日本分遣隊》

栗原二佐：……役立たずのガイジンどもが！貴様ら一体何をやっておったか！利根川を渡
 らせないどころか、帝都がまるごと陥落したではないか！……そうか、貴様ら、アカド
 ものスパイだな、

シキフネ大佐：二佐、それは言い過ぎだと思うが？

二佐：だまれ非国民！お国が危急存亡の瀬戸際に立っていた時亡命した貴様に、何が分か
 るか！

エル＝プライス中佐：落ち着きな！アタマのあんたがそんなでどうすんのさ！

二佐：（激昂の余り絶句する）……毛鷲どもめ、尻でも舐めやがれ……貴様らの任務もこれで終わりだ。とっ
 とと荷物をまとめて出ていけ！

S. Venturs中尉：……誰が来るものか。

作戦参加者の状態（SD:撃墜機数 BS:爆破目標数 SP:評価ポイント OP:作戦参加回数）

プレイヤー	Sqn.	乗機	愛称	キャラクター名	S	D	B	S	S	P	O	P	階級	状態	機体
岬当麻	7 1	H n t	S shoot	ブルバイカー									大尉	戦死	
	7 1	F 4 D	Z Z G	ルー・ルカ	2	0	6	3	2	1			大尉	生還	無傷
篠原崇	7 0	H n t	シュタイナー2世号	伊集院 暁美	0	0			7		4		准尉	軽傷	中破
	7 0	H n t	大器晩成	幸村 大介									中尉	戦死	
	7 0	H n t	“吹けよ風、呼べよ嵐”	アメリア=イアハート	0	0			1		1		准尉	生還	少破
	7 0	H n t	Earth	アール・デュマレスト	1	0			3		2		准尉	軽傷	中破
	7 0	H n t	—	トロン・ミラン	1	0			8		3		准尉	生還	無傷
	7 0	F 8 6	翠玉女伯爵	レジーナ・プライス	5	0	5	8	1	7			大尉	生還	無傷
	7 0	F 9 F	くいんまんさ♡	エルビー・ブル	2	0	6	0	1	9			大尉	生還	無傷
	7 0	J 3 5	蒼い彗星	エル＝プライス	5	0	128	2	7				中佐	生還	無傷
	7 2	H n t	アクシズ	榊原 良子	0	0			6		2		准尉	軽傷	少破
7 2	H n t	ウォープリンセス	アルコ・クラッハ	1	0	1	8		3			少尉	生還	無傷	
井村和正	7 1	H n t	—	ゲーリケ									中尉	戦死	
	9 9	A D	—	ホームート	0	4	4	6		9			大尉	生還	無傷
	9 9	S f r	—	フオルスター	0	1	4	2		8			中尉	軽傷	少破
	9 9	A 3 D	見敵必殺	メルダース	0	0	8	3	2	3			少佐	生還	無傷
遠藤誠	7 0	F 9 4	慈雨	五島 三四郎	1	0	1	6		9			少尉	軽傷	少破
	7 0	F 9 F	メリーセブンIII	ジョン・シッカー	3	0	3	5		9			中尉	生還	無傷
	7 0	F 8 6	ベアトリーチエ	マクレソン・シッカー	1	0	5	2	1	0			大尉	軽傷	少破

	7 2	H n t	B I S H O P	アリス・ブリアン	0	0	1	8	8	少尉	軽傷	少破
	9 9	F r b	ストーカー1	望月 浩二	0	2	1	3	9	少尉	軽傷	少破
	9 9	A D	ストーカー2	ボールドウィン	0	0	7	2	1	少尉	軽傷	少破
秋信敏男	7 0	H n t	—	H. ストメル	2	0	3	1		准尉	軽傷	少破
	7 0	1 0 0	—	J. E. Warnock	1	0	6	2	2 6	大尉	生還	無傷
	7 1	H n t	—	K. Penn	2	0	6	8	1 8	大尉	軽傷	撃墜
	7 2	H n t	—	D. ゴードン	0	0	1	1		准尉	生還	無傷
	7 2	F 9 F	—	S. Venturs	0	0	3	3	8	中尉	軽傷	少破
木村博昭	7 0	F 9 4	モーリントン	カルナー・ホルン	1	0	1	5	8	少尉	軽傷	少破
				モーリン・ハット			1	4	7			
	7 1	H n t	ウルフハンター	エッダ・ミュートン	1	1	9	2		准尉	軽傷	中破
	7 1	H n t	テレジア	ハレイ・モーン	2	0	3	1		准尉	軽傷	少破
	7 2	A D	スチューター	セシル・ヒューストン	0	0	5	0	8	大尉	生還	無傷
菅原忠幸	7 1	H n t	キラールベア	ガルシア・ブルー	0	0	1	1		准尉	軽傷	撃墜
	7 1	H n t	フラッシュ・クロ	ジュン・フライド						中尉	戦死	
	7 1	S v x	双牙	キリーク・シマー	2	0	4	9	1 8	大尉	生還	無傷
				アーサー・ベリー			1	5	4	少尉		
	7 1	F 8 U	昇竜	リュウ・シキフネ	5	0	16	2	3 0	大佐	重傷	撃墜
	9 9	J 3 2	剣歯虎	ゲン・ホ・キム	0	3	6	5	1 2	大尉	生還	少破
				ギンゾウ・テル			2	4	4	少尉	軽傷	
	9 9	A D	ファイア・アロー	フィラデルフィア・カーマイン	0	4	7	7	1 5	少佐	生還	無傷
	9 9	A 3 D	ジャイアント・ボム	ウィリアム・ジェームス	1	6	8	8	1 6	少佐	生還	無傷
				ロン・シャオレン			4	9	8	中尉	生還	
			ジュン・ミズサワ			1	4	2	少尉	生還		
	療養	H n t	ワイルドキャット	レイチェル・サラ						准尉	回復	
	療養			ヒロト・クマガイ						准尉	回復	
林孝始	7 0	H n t	Gurdian-1	ジャン・エヴァンス	2	0	4	2		准尉	軽傷	少破
	7 0	J 2 9	Gurdian-2	ゲルナー・ガト	1	0	3	2		准尉	軽傷	少破
	7 1	H n t	The Hunter	キャロル・コーヴェット						中尉	戦死	
	7 1	F 9 F	Kerberos	マーティン・オルズ	2	0	3	4	1 3	中尉	生還	少破
	7 1	S m t	S E I R E N	ルーフ・ラングレン	0	0	7	7	1 9	少佐	軽傷	撃墜
	7 2	S h k	Gurdian-3	ジャッキー・バグマン	0	0	1	1		准尉	軽傷	少破
	7 2	F r b	Gurdian-4	ケニー・グローバ	0	0	1	1		准尉	軽傷	撃墜
	9 9	H n t	流星	カオル・ヤギサワ	3	0	3	1	7	中尉	軽傷	少破
	9 9	F 8 6	STORMY BLADE	ジル・グラスランナー	0	2	4	7	1 0	中尉	生還	無傷
	9 9	S v n	Hell Maddona	クレイ・コリンズ	0	0	3	8	1 1	中尉	軽傷	少破
日高耕	7 0	H n t	—	グスタフ・ノスケ	2	0	3	1		准尉	生還	無傷
	7 1	J 2 9	—	マルティン・ニーメラー						中尉	戦死	
	7 2	J 2 9	—	カール・グスタフ・マンネルハイム						中尉	戦死	
	7 2	H n t	Hephaestus	チェアン・マクガイア	1	0	1	9	9	少尉	生還	無傷
	7 2	H n t	Visnu	ガーン・デヴィ	0	0	1	5	3	少尉	軽傷	少破

	7 2	F 8 2	—	アキレ・オケット パウルス=ティアコマス	0	0	1	1	准尉	生還	少破		
	7 2	F 8 2	Siva	マータ・ディオ カウティリヤ・ジンナー	0	0	7	3	少尉	生還	中破		
	7 2	F 9 F	ノイン・グロス・ファルク	ウォルフガング・レオンハルト	1	0	3	7	1	1	中尉	生還	無傷
	9 9	H n t	—	ウィルヘルム・グレーナー	0	2	5	1	准尉	生還	無傷		
	9 9	H n t	—	オットー・グローテヴォール	0	0	1	1	准尉	軽傷	少破		
赤木崇敏	7 2	H n t	Serenade	ジェフリー・オーウェン	0	2	1	2	2	少尉	生還	無傷	
	7 2	H n t	Solo	エルネスト・クローチェ	0	0	1	0	2	少尉	生還	無傷	
	7 2	A D 4	Choral	パウル・ミュンツァー	0	1	1	9	4	少尉	軽傷	少破	
	7 2	A D 4	Concerto	カール・シュレーゲル	0	0	3	1	9	中尉	生還	無傷	
	7 2	A D 4	Etudo	レナルド・ウォルポール	0	0	1	1	4	少尉	軽傷	少破	
	7 2	A D 4	Fantasia	ジュリア・グラムシ	0	1	1	4	2	少尉	軽傷	少破	
	7 2	A D 4	Prelude	オットー・ブルンフェルス	0	0	2	8	9	中尉	生還	無傷	
	7 2	B 2 6	Ballad	アルフレッド・クルップ フィリップ・プラント ヴィルヘルム・シュタイン	0	1	1	4	2	少尉	軽傷	少破	
	7 2	B 2 6	Recitative	アルベルト・ビューロー ポール・アベラール ジョルジュ・ブラック	0	0	8	3	3	准尉	生還	無傷	
				療養	アウグスト・シュレーゲル						少尉	回復	
菊川智範	9 9	H n t	—	司馬 睿						中尉	戦死		
	9 9	H n t	—	司馬 炎	0	2	5	1	准尉	生還	無傷		
	9 9	H n t	—	司馬 光	0	5	1	1	1	少尉	軽傷	撃墜	
	9 9	H n t	—	司馬 遷						中尉	戦死		

☆申請機の略号

S m t …シミター F. 1 F 8 2 …F-8 2 G ツインマスタング

A D 4 …A D-4 スカイレイダー B 2 6 …B-2 6 B インバーダー

☆申請機の価格

F 8 2 …1 0 0 0 z g A D 4 …1 3 0 0 z g B 2 6 …1 5 0 0 z g

叙勲

☆今回71、99飛戦に参加していたもの

上の者、日本全土が共産主義化する事を食い止めた功により、公室旭日龍騎士章(+3)を与える。能く闘いたり。今後の精進を期待して止まない。

イェール空軍義勇航空隊

☆戦果報告

《本国基地》

オイラー大佐：大変よろしい。油田の完全破壊は見事に成功した。敵もブニュ油田の確保は当面あきらめた模様だ。ただそれだけに、再び敵が南下を開始する兆しが見えはじめている。こういう時に空母が手元にあるとかなり楽なのだが、残念なことにあれは今ソ連に売られ、ウラジオストックのドックに入っている。

《日本分遣隊》

ミリヤコフ少佐：東京征服も諸君の献身的努力によって、成功裡に終えることができた。この先には敵はなお厚木、横須賀などに拠点を構えて反撃を続けているが、これとて腐敗しつつある資本主義と同様、我が偉大なる世界革命に何らの影響も及ぼすものではない。諸君、我々の勝利は既に地平線上にその姿を現わしている！

作戦参加者の状態 (SD:撃墜機数 BS:爆破目標数 SP:評価ポイント OP:作戦参加回数)

プレイヤー	Sqn.	乗機	愛称	キャラクター名	S	D	B	S	P	O	P	階級	状態	機体
正宗征士	90	F9F	—	O. フュージョン	1	0	2	1	1	1	1	准尉	軽傷	少破
	90	F9F	—	S. モンサン								中尉	戦死	
	91	F9F	—	S. S. カベルネ	0	0	1	1	1	1	1	准尉	生還	無傷
	91	F9F	—	K. ルバイヤート								中尉	戦死	
	91	F9F	—	M.C.M. リミテ								中尉	戦死	
	91	F9F	—	S. プリヤン	0	0	1	1	1	1	1	准尉	生還	無傷
	92	M15	—	ミード・ワシントン	0	1	1	7	4			少尉	軽傷	中破
	93	F9F	—	M. ブラッシュ								中尉	戦死	
	93	F9F	—	O.M. トルガ	0	2	5	1	1	1	1	准尉	生還	無傷
	93	F9F	—	O. T. レーベ	0	0	1	1	1	1	1	准尉	生還	無傷
笠原和子	90	M15	Gold	J. ウォーカー	1	0	7	4	4	4	4	准尉	生還	無傷
	91	M15	Twenty Five	S. アンバサダー	0	0	8	4	4	4	4	准尉	軽傷	撃墜
	91	M15	—	D. ホワイト	0	0	1	1	1	1	1	准尉	軽傷	少破
	92	M15	—	S. リーガル								中尉	戦死	
	92	M15	—	R. サルート								中尉	戦死	
	92	M15	—	R. ハウスボールド								中尉	戦死	
	92	F2H	Appletree Fizz	G. ビーフーター								大尉	戦死	
	93	AU	—	F. グラウス	0	2	5	1	1	1	1	准尉	軽傷	撃墜
	93	AU	—	T. ディンプル								中尉	戦死	
宇垣麻美	93	Hur	B R I T I S H	C. モカ	0	0	6	0	8	8	8	大尉	軽傷	少破
	90	F9F	—	M. le フォルジュ	1	0	2	1	1	1	1	准尉	生還	無傷
	90	F9F	—	S. モンブスケ	0	0	1	1	1	1	1	准尉	軽傷	少破
	90	F9F	—	S.M. ロット	0	0	1	1	1	1	1	准尉	生還	無傷
	91	M15	—	S. ラトゥール	1	0	2	1	1	1	1	准尉	軽傷	少破
	91	M15	—	S. マルゴウ								中尉	戦死	
	91	M15	—	S. オブリオン								中尉	戦死	
	92	M15	—	ムーラン・ヴァン	1	1	5	2	2	2	2	准尉	生還	無傷
	92	M15	—	M. プルミエ	0	0	2	2	2	2	2	准尉	軽傷	少破
	92	M15	—	V. プレティフ	1	0	3	2	2	2	2	准尉	生還	無傷
93	AU	—	S.P.L. パロン	0	0	1	1	1	1	1	准尉	生還	無傷	

山田国見	9 1	M 1 5	Harpy	インクリース・メーザー	2	0	8	4	准尉	生還	無傷		
	9 1	M 1 5	Sphinx	ヤコブ・スミッツ	0	0	7	3	准尉	軽傷	少破		
	9 1	M 1 5	—	アンドレス・ベリヨ	0	0	3	2	准尉	軽傷	少破		
	9 1	F 8 6	Prudence	ヴァイン・シュトライザー	2	0	2 8	6	中尉	生還	無傷		
	9 3	I 1 2	Gargoyle	アーウィン・ブリードレンダー	0	5	1 8	2	少尉	生還	少破		
	9 3	B 2 6	—	ジョルダノ・ブルーノ	0	2	2 4	4	少尉	軽傷	少破		
				ジェームズ・キングズベリ					5	1	准尉		
				ウィリアム・フェレル ルイージ・ピランデロ									
	9 3	F 8 4	Thunder Bolt	オマル・ハイヤム	1	2	5 9	9	大尉	生還	無傷		
	9 3	B 1 N	Awkwardness IV	カール・ドルス	1	1	7 6	1 1	少佐	生還	無傷		
レオン・ブルームハルト				5 4					7	大尉			
9 3	B t o	Mermade	ニコラス・ワイズマン	0	5	5 3	9	大尉	生還	無傷			
			キャロル・グラック					6 1	1 0				
9 3	B t o	Vampire γ	トマス・アキナス	0	1	5 5	9	大尉	生還	無傷			
			ジョン・ホワイトハースト					5 8	9				
吉楽征二	9 1	M 1 5	K. Kコンビ	K. ゲルハルト	1	0	1 0	4	少尉	生還	無傷		
	9 3	B 5 7	—	吉田 剛	0	2	5 8	7	大尉	生還	無傷		
				上杉 建男					3 2	4	中尉		
下永弘典	9 0	M 1 5	7 3	ダーウイド・ラッセン	0	1	2 0	7	少尉	生還	無傷		
	9 2	A U	A 1	ジャック・フロイト	0	0	6	4	准尉	生還	無傷		
	9 2	A U	5 2	ユーリイ・ロマノフ	0	0	2 3	8	少尉	生還	無傷		
	9 2	M 1 5	B 1	イヴァン・ロイスン	1	0	8	3	准尉	軽傷	少破		
	9 3	A U	C 1	マイリッヒ	0	0	1	1	准尉	生還	無傷		
	9 3	A U	6 1	レオニード・ユースポフ	0	2	5 4	8	大尉	生還	無傷		

☆申請機略号

B 1 N…ボートウールII-1 N

次 回 の 作 戦

《イザベリア軍》

ガルマン大佐：諸君、「新戦略」のための戦術だ。とにかく、ただひたすら、ブニュを維持しろ。それだけだ。おそらくこれ以上戦線が動くことはないだろうし、また長続きすることもないだろう。カネを稼ぐなら今のうちだぞ。

☆部隊編成

〈ブニュ〉

飛行第70戦隊（対空迎撃）

飛行第72戦隊（対地迎撃）

飛行第71戦隊（対空迎撃）

独立飛行第99中隊（対ゲリラ）

《イエール軍》

オイラー大佐：イザベリア軍はそれでもブニユをあきらめきれないのか、停戦交渉を持ちかけてきている。我々としてはあまりのみたくない要求なのはもちろんだ。できれば1cmでも領土は取り戻したい。そのためにも今まで以上の攻勢が要求されている。ブニユへの空襲は引き続き行なう。また、首都サダティへのゲリラ活動が最近活発化しつつある。これに対処するため、新たに第99義勇飛行隊を編成し、これに対処するものとする。

《日本派遣部隊》

ミリヤーコフ少佐：補給上の問題のため、我々は一旦進撃を休止する。新たに課せられた任務は、東京の維持である。我々が一国の首都を保持している事は、対外的にも有効な切り札となるであろう。

★部隊編成

〈タンジュンレデブ〉

90RW (迎撃) 91RW (ブニユ制空) 93RW (ブニユ爆撃)

〈サダティ〉

〈羽田〉

99RW (対ゲリラ)

92RW (東京維持)

N O T E

※今回の参加締切りは4月20日(必着)です。

※イエール軍で日本勤務を行う場合、次の兵器は入手できません。

AIM-7 5inHVAR ソ連製以外の全機種

今月の動き

○1958年11月20日の「朝日新聞」：以前侵略を続けるソ連軍は、昨日遂に東京永田町に達し、更に一方的に休戦を発表した。連合軍総司令部は、休戦を承認するには全てのソ連軍兵力が開戦前のわが国領土からでていくことが必要であるとして、これをはねつける声明を発表した。

編C後記 (SD編)

そろそろこの朝鮮期シナリオも終わりに近付いて、再び空技廠に修羅場が訪れてきました。Hey! シュラバ・ラ・バンバ! OK? ...あ、...まっ、まあとにかく、修羅場なわけです。何が一番大変かって、機体リストが一番大変なんですわ、これが。機材の選定(今度は1970年を目安の予定)一つとっても、この時期は「新しい」機体が目白押しだし、特にソ連機なんかは「胡散臭い」機体が山のようにありますから……。で、これらのデータを固めて、その上で側面図をつくらなきゃいけない。今までの蓄積分はほぼ使えない(ほとんど更新されるから)ということは、それだけ敷き写しする量が増える、と。

ところで、今度の機体、何だしましょう? こっちの方である程度目鼻はつけてるんですが、まだ漏れとかがあるかも知れないし……。「これは欲しい」という機体があったら、遠慮なく言って下さい。とりあえずもう動かさなかつもりなのは、次の点。

F-14は出すが、15・16は出さない フィッターはSu-20
F-4はEとK インド製機はイエール側

真鶴レポート

真鶴学園ではあまり見ることのないミラージュⅢが、男子部の滑走路から離陸した。F-4ファントムが主流の男子部では、その三角翼機は人目を引くのに充分だったが、いかんせんその頃にはほとんどの生徒たちが離陸したあとで、せいぜい管制係の注意を引くに留まった。それでも「また物好きが出たか」という程度だったが……。

「五番機、……おい、北原！もつと離れろ、そんなに近寄るな。島津がびびってる」

前男子部総大将の赤城広義は、「最後の奉公」として、新人生徒に空戦技術を一から伝授していた。今のところ中1Aの北原鉄也が一番の有望株だったが、困ったことには他の部員たちよりも腕が良すぎるのだ。今も一列横隊を組ませようとしている時に、必要とされる機間距離よりも「故意に」詰めていた。他の者は接触を恐れて必要よりも大きく開けようとする。加賀実が操縦するF-4EJは、新入部員たちのF-5Eより少し高く、間を開けて飛んでいた。加賀は面白がって高見の見物を決め込んでいたし、赤城は十数機にのぼる「烏合の衆」をまとめるのに苦闘していたから、彼らの下から「不意に」現われた銀色の機体への対応が遅れた。

ミラージュⅢが、流れるように北原のF-5Eに近寄る。

「おい！誰だお前！」

加賀がハッとなって誰何したが、遅かった。二機は磁石のように吸いつき、さらにもう一機のF-5を巻き込んで、次いでまとめて一機になったように見えた。

「Hello, 誰か……げ」

加賀はイヤホンからそんな言葉を確かに耳にした。

「またノマカが一人、増えやがった……」

額を押さえて、彼は毒付いた。

春日千明はクーデター以来、暇を見つけては銃を撃っていた。ボディガードとして射撃の腕を磨くのがほとんどだったが、ある時ふと、彼女は榛名自身の護身力に疑問がわいた。果たして、自分は榛名の役に立てるのか。逆に足手纏いになってはいないだろうか？この問題については、少し考えれば一定の答は出るものだった。すなわち、榛名は「あの」宇垣の姉貴分である。つまり宇垣一家はそっくり榛名の物である。全校生徒の二割はいるとされる彼らを敵に回してまで、榛名を襲おうという人物は、少なくとも真鶴近辺にはそういない。片手の指で数えてもまだ多いだろう。しかし春日にとっては、榛名の「実力」が新たなる問題として頭を離れなくなってしまう。とりあえず手つとり早いのは、付き合ひの長い人間に尋ねることである。

まず、榛名の副官である南雲陸奥に尋ねてみた。

「……そう言えば榛名がじかに誰かとケンカしてるところって、見たことないなあ。大概はケンカになる前におさめちゃうから」

これでは話にならない。「子分」の宇垣に聞いてみると、

「……うーん。榛名たあ、中3以来やったことねえなあ」

これである。

「何ならじかにやってみな？二度とそんな考えしねえから」

さらに彼女は、逆に謎をかけるようなことを言ってきた。弱すぎて考える気にならないのか、それとも心配の必要がないほど強いのか。やはり実験しかないのか……

普通ならばなにがしかの格闘技で臨むところだが、そこは春日のやること、拳銃が飛び出してくる。話を持ちかけられた榛名は、ぎょっとなって春日の目をのぞき込んだ。

「宇垣とじゃれてるだけかと思や……」榛名は額に手をあてがった。「チィちゃんベレッタだっけ？銃は？……やれやれ」

模型部内の人事異動を前にして人の出入りが普段に増して多い「相模」の艦橋から、榛名は出た。早速の腕試しを期待して、春日が続く。……が、ドアを出たところできなり榛名が振り返った。右手には……C z 7 5。

「はい、私の勝ち」

榛名はあっさり告げたが、呆気にとられる春日の顔を見て、一息置いてから続けた。

「冗談よ……」

春日の緊張はいやが上にも高まった。今の榛名の行動は、ぜんぜん心配がなかった。まだだと思って気を許していたせいもあるが、それにしても一体……。

榛名はずんずん艦内を歩いていく。そしてとうとう後部甲板の、ヘリパッドに着いた。

「ここならあんまり人も来ないから。クイックドロウでいいのね？」

「はい」

春日は懐のベレッタM92FSを確かめながら、うなづいた。榛名が艦尾を背にするように立つ。お互いが相手を見据えて……時間が、止まった。春日が動くこともできずに生唾を飲み込む。

スキがないのだ。少なくとも彼女から見た榛名はそうだった。動いた瞬間、自分の方が撃たれそうな気がする。相手は自然体で、きょとんと立ってこっちを見ているだけなのだ……それでいて、こっちのつけ込むスキがない。ない、気がする。……気がする？そう言えばあのクーデターの時の、榛名のハッタリの数々……だとすると、これもハッター？……えい、南無三。

春日は思い切って、硬直した関節を無理に動かして、懐のベレッタに手をやった。

ドオン！

遠くの方で、誰かの艦が砲を発射した。発射音はこちらにも伝わり……それだけで、榛名はくじやりと甲板に倒れ込んだ。

「へ？」

春日は自分の目を疑った。今の銃声は自分のものではないのに？……????

榛名はしばらく動かない。春日の背後から、南雲の声が響く。

「ちょっと榛名、お約束のボケを……！」

その声で、榛名の体は疑い深く、むっくりと起き上がった。

「……今のは？」

「誰かのフネが試し撃ちしたみたいね」

春日が振り返ると、南雲は第3主砲塔の砲身の下に横座りしてこっちを見物していたようだった。

「ごめんチィちゃん、早トチりしちゃった……もいっぺんやろうか？」

「……え？いえ！もういいです。ありがとうございました！」

それだけ言い残すと、春日は回れ右してその場を逃げ去った。結局榛名が強いのか弱いのかはわからずじまいである。もしかすると、ハッターが実力の大部分を占めているのかも知れない。ただ、宇垣が榛名に従う理由だけは、何んとなく分かったような気がした。

「軽音部、ねえ」

女子部で音楽の授業を一手に受けている加藤は、別に驚くこともなく、伊藤早苗の提案を聞いていた。いずれ来る話だとは思っていたらしい。若い音楽教師は少しの間考えていたが、すぐに答えを出した。

「とりあえず、部員を集めなよ。……そうだね、5人くらいかな。それでまず、同好会扱いから始めたらどうかな。それとか……ブラバンの中で、軽音班を作るとか。そっちだったら新設申請をやらなくてもいいしね」

その日から伊藤は、仲間集めに入った。だが、割と保守的な生徒が多い真鶴にあっては、どうも感触はよくなさそうでもあった。

榊裕はその日も、身元が確實（と思われる）生徒をつかまえ、あたりを伺いながら話を

切りだした。

「実は今度、女子部に忍びこんでみようと思うんだけどね……」

相手ははじめ、正気か？と疑うような視線を彼に向け、すぐにブルブルと首を横に振って、それ以上の会話を拒絶した。……どうも、ここ数日間、生徒のノリがよくない。

なんでだろう？

その答えを彼はすぐに知ることになった。夕方になって寮の自室に、宇垣の手下が押しかけてきたのである。もちろん男の方である。

「あのな、よく聞け。お前さんがやってる賭けについて、宇垣さんは今はまだ無視してる。ただ風紀委員会が、プライドを取り返すために近々動くらしい。悪いこと言わないから、金は返しとけ。……それから、お前さんが行くところには、宇垣さんが住んでるんだぞ」とりあえず、宇垣の事は承知の上でやっている事である。彼にとっては風紀委員の方が怖かった。彼は自分の運の良さを釈尊に感謝し、その日のうちに掛金を全額「始末」した。

また別の日の晩のこと、坂井法子は栗田はるなの自室を訪ねた。

はるなの方は別段驚きもせず、彼女を迎え入れた。ただ、何んとなくよそよそしい感じがしたのは、坂井の気のせいではあるまい。

「多分、そろそろ来るころだとは思ってたよ」

はるなはベッドに座るよう手ですすめながら、自分は勉強机の椅子に腰かけた。

「……で？」

坂井はまたいつものように、少し戸惑いながら、ためらいがちに話を切りだした。彼女ははるなを前にすると、どうしても気を吞まれてしまうのだ。

「……留学生との空戦で、思ったんです」はるなは意表を突かれたような表情になった。何を言い出すんだ？という疑いがありありと現われている。「勝てなかったのは、やっぱり技術力の不足なんじゃないかって……」

「って、そりゃあねえ。向こうだってそれなりの腕のあるのを選んでるから。あれだけ見て、それで決めるのは……」はるなは口をはさんだが、ふと思いついたように言い止まった。「……で？」

「アグレッサーを作りたいんですが」

アグレッサーとは、米空軍にある仮想敵機飛行隊の総称である。主に戦闘機パイロットに対して東側機のように振る舞い、空戦技術向上の役に立つことを目的としている。

はるなは完全に虚を突かれたようだった。しばらく、坂井が今言った言葉を吟味しているようにも見えて、多少の間が空いた。やがて彼女はうなづいた。

「それ採用」今やはるなには会心の笑みが浮かんでいた。「いやー、最初の時からずいぶん成長したね……。で、人選どうする？」

そこで坂井は言葉に詰まった。採用になるかどうか分からない話を、そこまで考える方がおかしい。はるなとてそのことは知っていて、それで聞いたのである。

「……まっ、それはそれでいいけどさ。おっつけ決めるとして」

はるなはそこで、坂井の顔をのぞき込んだ。彼女の顔にわずかに朱がさす。

「私、近いうち15降りるから。正式にね」

「は？」坂井は不安になった。一体どういう事だろう？

「で、今度はファントムに乗る」

「はぁ？」さらに彼女は訳が分からなくなった。

はるなはそこまで言葉をとめ、意味深にニンマリと笑みを浮かべた。

「あの、……」

「後ろに乗らない？」

明らかに音を立てて、坂井は息をのみ下した。動悸が高まるのが、自分の耳でも分かる。顔が火照ってきていた。

「ずいぶん表情に出るねえ」はるなも、この反応は予想していなかったようだった。「話だけでこんな緊張するんじゃない、やめたほうが……」

「やりますやります！」坂井はあわてて否定した。「やらせて下さい、お願いします！」
はるなはそれを聞くと、満足そうにうなずいた。

「ふう」

春日は深く息をついた。今回で3人目になるが、得られるものはまだ皆無。

彼女は、独力で風紀委員会の「背後にあるもの」について、調査をはじめていた。あれだけの事件を起こした勅使河原がああもあっさり逮捕されるというのは、「おかしい」のではないか……？それで、風紀委員会の上層部に位置する者をつかまえては、半ば脅迫的に情報固めに回っていたのである。しかし相手の選び方が悪いのか、それとも本当に知らないのか、はたまた単に口が固いだけか、得られた情報は一般に知られている程度のものだった。いわく、勅使河原は大ヤクザの組長の愛娘で、いずれ跡をつぐのは間違いない。いわく、勅使河原家には大物政治家の知り合いがたくさんいる。うんぬん……

やっぱり……

いっぺん、ここらで榛名先輩に意見を聞いてみた方が。

思い立ったらすぐ行動に移すのだけが、彼女のとりえと言えよう。その榛名の見解とは言え、こうだった。

「うーん……結局のところわがソ聯地上軍は正義の軍隊であるからして理由もなく戦争を起こすほど野蛮ではない偉大なる同志レーニンの著書によると最新の帝国主義のいわば純粹に経済的な根底と政治的根底との結び付きが西側退廃的ブルジョアジーの人民に対する弾圧と搾取すなわち彼らは自由を貪り汚れた手を他民族の頬になすり付ける事で建国の父の革命的理想は踏み躪られ社会は淫売宿と化しその結果プロレタリアートによる階級闘争が実施されグラスノスチとペレストロイカが達成されるのである……て事でうまいこと収まったんだからいーんじじゃない」

話の途中から、春日の頭はもはや渦巻が飛び交う四次元空間と化していた。この文面を完全に理解できた君。君は、今すぐ精神鑑定を受ける必要があるだろう。榛名の言を要約すれば「私にもわかんやーい」ということなのだが、そのことすら理解できず、彼女はよろめきつつ榛名の自室を辞した。そこをつかまえたのが「真鶴学園最強のご意見番」にして「栗田艦隊の耳」、如月まどかである。

「どーしたの！そんな新興宗教に捕まったみたいな顔して！あたしに洗いざらい話してごらん！お金以外の相談なら乗るよ」

これが最後の砦とばかりに、彼女はところ構わず、本当に洗いざらいぶちまけた。

結果、如月の見解はこうでた。

「あたしがいらんだところでは、これは全部仕組まれた事だよ。榛名が起こした反乱は予想外だったとしてもね。……ほら。昔っから、自衛隊は違憲だの何だのって騒ぎはあったじゃん。設立からもう50年以上経って、金食う割にはその装備の半分もまともに使わない……もつとも、まともに使われても困るんだけどね。だから、ここらで自衛隊の存在意義を確立したがつてる連中はいるわけよ。反乱鎮圧に、ここまでお役に立てますって。何で真鶴かは私もわかんないけどさ、どうせそんなとこでしょ」

「その『連中』って、ズバリ誰だと思えますか？」

「フリーメーソン」

この一言で如月の見解も、春日の中では一発に信憑性を失った。結局、当事者以外の誰も真相など知りようはないのであろう。

6月15日

その日の朝方は小雨だったが、日の出すぎからは見事に晴れ渡り、絶好の運動会日和となった。山側から吹き下ろすそよ風が、無闇に暑くなるのを抑えてくれる。

……が、朝の点呼の後、校庭周辺の生徒数はめっきり少なくなった。宇垣たちが「ご休憩」に入ったためもあるが、もう一つ、女子柔道の試合がしょっぱなから体育館一階の武道場で始まるためだ。

この武道場は、柔道場が一面、剣道場が二面、空手場が一面取つてあるが、これが全国レベルのクラブが使う所かと思うほどの質素さだ。柔道部と言えば、男女ともこのところ毎年全国大会を総ナメにしている強豪だというのに……。

それはそれとして、この試合で運動部レギュラー専門組のE組が優勝するのは既に常識になっている。「やらせ」などではなく、本当に実力が違うのだ。「ケンカ大王」と自他共に認める宇垣でさえも、「試合でだったら奴らにや勝てねえ」と言うくらいなのだ。では、何故人が集まるのか。「二位争い」も一つだが、「いかにあつけなく負けるか」が一つのエンターテイメントになつてもいるのだ。

加越京子は高1 A代表として参加していた。一回戦目から高1 E組との対決である。加越は先鋒だった。E組の先鋒は柔道部の補欠だったが、見るからに強そうな筋肉質の体つきである。その場にいた誰もが、当人も含めて、E組の勝ちを確信した。何しろA組選手ときたら、興味本位の加越以外は「しょうがないので」人数埋めに来たようなモヤシばかりだからだ。

「はじめ！」

両者横へ回って間合いを取ろうとする。ボクシングのような感じである。襟を取ろうとして両手が突き出される。次いで、両者が組み合った。この時点で観衆から歓声が上がる。まさか組み合いになろうとは、誰も予測していなかったのだ。

「うりゃあ！」

加越が気合をかける……が、何も起きない。周りが笑いに包まれたが、次の瞬間にはどよめきが変わった。審判の柔道部顧問が一本を宣言する。

加越自身、何が起きたのか分からなかった。足を絡ませた途端、体が倒れて……一本。一本？彼女は自分の耳を疑った。

結局、A組はその試合を5人抜きでものにしてしまった。

一方、同じころ、模型部用射撃レンジでは、有志による射的が始まっていた。柔道とかちあっているのだから、当然観客はないに等しい。順番待ちの生徒も、大概是空き時間を読んで他の競技を見に行つてしまっている。春日千明は新しく買ったベレッタM92FSで、これに参加していた。横には長門洋子がいたが、春日は長門を知らない。ずいぶんスレた高3だな、というのが正直な感想だった。宇垣といい勝負くらいだろう。

「用意」時間を見計らって、審判の先生が号令する。「……はじめ」

同心円ターゲットを10mの距離で狙い、持ち時間1分半の間に20発を撃ちつくし、その命中数で勝負する。余った弾数はペナルティとして点数から引かれる。当然、オートマチックの方が有利になる。

DM用銃の独特の発射音が、しばし続く。結果はすぐに出た。

「……高1 A、春日千明。20点！」

一番外側に、2発当たっただけらしい。彼女はかなりのショックを受けた。隣の長門は平然と撃つていて千何点である。もつとも平均が150点（50点が3発）弱だから、あまり気にすることはないのかも知れない。しかし、道理で撃ちあいで宇垣に勝てない訳だ。さらなる練習の必要を、彼女は悟った。

女子柔道の第2試合、加越たち高2 A組は高1 D組を相手に善戦した。がしかし、先鋒の加越が相手の副将に敗れると、あとはすんなりと勝敗が決した。

しばらくして11時ごろ、午前中の競技を締めくぐるものとして、クラブ対抗リレーが始まった。各種競技が順調に進み、生徒たちのテンションもちょうどいいレベルに高まってきた。これは、各クラブがそれぞれの活動内容に沿った衣装の選手4名を出し、各100mをリレーするのである。真鶴の体育祭の中でも、人気の高さでは柔道と一二を争うもので、近くの住民たちも見物に来るほどだった。また、都心から学校見学に来る家族がちょうど学校に着くあたりの時間でもあり、学校のPRという面も多分にある。

「このクラブ対抗リレーは校内テレビでもお送りしています。実況は放送委員長如月まどかです。さて、各クラブが趣向を凝らした仮想を見せてくれるこの競技、今年も独創性に満ちたものがいくつか見られます。

「さて第一グループの点呼が終わった模様です。ご紹介いたしましょう。第1コース、赤のバトン、空手部です。今年は通常の道着ですが両腕にパワーリストをごつてりと着けてハンデとしています。去年のTシャツ・トレパン出走への反省でしょうか。主将の真鍋部長はさらに赤いハチマキを額に巻いています。ストⅡのリユウのつもりなのでしょう。第2コースは黄色のバトン、交通研究会です。黄色い作業着に工具類をフル装備での参加。総計10kgの工具はかなりのハンデと思われます。第3コース青のバトン、ワンゲルフォーゲル部です。こちら登山装備を固めての参加。資料によるとやはり10kgは下らないとのこと。第4コースは緑のバトン、剣道部です。こちらはまっとうに竹刀に防具といういでたち、ただし小手をした上でのバトンの受渡しは少々不安なところ。第5コース、白のバトン、化学部です。全員白衣を着用。おそらく一番軽装なのでしょうが、彼らは普段あまり派手に体を動かすことはありません。第6コースは先生連合。黒のバトン、羽織袴に一高帽、高下駄での参加。女の先生は当然のように緑色の着物に海老茶の袴、履物はブーツです。…恐ろしくスローペースになる事が早くも予測されます。あるいは下手なハンデのない先生の勝ちという見方もできますが、そこはそれ、おそらくウケを狙ってくれることでしょう。

…各馬一斉にスタート。まずは一番身軽な化学部、御手洗部長がリード、しかし基礎体力の不足はきつい模様、すぐに交通研究会の初雁つばめに抜かれます。空手部は妙なところにウェイトがあるせいで手が振れず、苦戦している模様。予想通りのスローペースな展開、先頭から交通研究会初雁つばめ、中村宏明先生、化学部御手洗忍、ワンゲル榊裕、剣道部古川英輔、空手部東大鳳の順です。…ペースがつかめてきたか初雁つばめ、徐々に二位との差が開きはじめました。往年の特急「はつかり」を思わせる滑らかなスピードアップ、続いて運動系の底意地か空手部が猛烈なスパート。しかし思うようにスピードは上がらない。中村先生はペースを上げたさそうだが高下駄が邪魔で走れない！安直な扮装が裏目に出ました先生連合。化学部はいつの間にか最下位落ちです。どうやらペースアップのタイミングを掴みそこねたか。さっそうと初雁つばめ、段トツ一位でリレー地点に到達、汗びっしょりでバトンを第二走者に手渡すと、そのまま倒れ込みました。やはり10kgのウェイトをかついだ上でのダッシュは無理があった模様です。続いて先生連合、宝塚の制服をまとった富島先生にバトンが渡ります。まわりつく袴をもともせずのつけから猛然とダッシュ、交通研の小野寺誠を追撃にかかりました。独身歴40年はあろうかという先生、さすが年季の入り方は違います。あの歳で振袖は反則に近いようですが敢えてその問題は避けましょう。少々間があいて第三位剣道部…おーっと！バトンの受け渡しに失敗しました。拾い上げるのに時間を取られるうちに空手部がリレーされる、続いて化学部、剣道部の今のミスは大きかった！当初の懸念が早くも現実化してしまいました！一気に最下位へ転落！剣道部スタートしましたが既に一位の交通研…いや、順位入れ替わり一位先生連合、二位空手部、三位交通研、四位化学部、五位ワンゲル、六位剣道部。富島先生恐ろしいスパートです。血圧は大丈夫でしょうか。ガリガリの…もといスマートな体のどこにあんな力が隠されているのか？二位以下との間はモーレツな勢いで開いて行きます。あの東京オリンピック男子フルマラソンでその雄姿を見せてくれたアベベ、裸足の勇者を見る思いであります！素晴らしい走りです。完璧な走りを保ったままで富島先生が文句なしの一位、世界史担当で空手部顧問の百枝先生にバトンが渡されます。続いて空手部交通研と順位に変化なく第三走者へ。百枝先生もダーッシュ！凄腕の勢いです。もしかすると周回遅れが出るかもしれません。空手部としては辛いところ。下手に負ければその後の猛特訓が待ち構えています。前門の狼後門の虎とは正にこのこと、その空手部今は無難に3mほどあけて2位に付けています。3位交通研は永野伊勢、見事なポニーテールを長々とたびかせて堅実に攻めています。先頭集団から第4位までは大きく開いています。これは大逆転を期待するしかない、…百枝先生背中の方からアンカー伊藤先生にバ

トンが渡ります……見事なパフォーマンス、観衆から歓声が一気に湧き起こります……が、これはフライングを取られました。リレー範囲に到達する前にバトンを手から離れたのが理由か。伊藤先生苦笑いを浮かべながら歩いてスタート地点に戻りますが、この間に空手部が一位に踊り出ました。思わぬ幸運です。続いて交通研、栗田はるなにバトンが渡りました。はるなは中3以来4年間、このリレーには皆勤です。アンカーはこれが最初で最後、どんな走りを見せてくれるでしょう。最終走者の出走順位をお伝えしますと1位空手部、2位交通研、3位先生、4位ワングル、5位剣道部、6位化学部ですが、ただいま4位と5位が入れ替わって剣道部ワングルの順、トップの空手部は今、最終コーナーを抜けて文句なし、段トツ一位でのゴール・イン！不安定なウェイトのある状態でよく頑張りました。続いて2位交通研、3位先生、4位ワングル、5位剣道部、6位化学部となりました……真鍋部長、歓喜の表情でクルリと回って昇竜拳のポーズ……しかしバランスを失って倒れ込みました……。ただ今本部より新しい情報が入りました。交通研の第3走者、永野伊勢のポニーテールが走路妨害と判定され、二位の交通研が最下位格下げとなった模様……」

昼休み時間の後に、午後の一番競技、「ソーダ飲み競争」が始まった。いくつかあるギャグ競技の一つで、パン食い競争の代わりに炭酸飲料を使うのだ。コースは200m。真鶴市内のケーブルテレビで流される、数少ない種目の一つでもある。



「さあ、このソーダ飲み競争、実況は放送委員会の爆弾アナ、早坂良絵がお送りします。まずはルールをご紹介いたしましょう。まず、選手は各クラスから一名選抜されています。コースは100mオーバルを二周です。まず一周したところで、スタート地点に用意された各種の炭酸飲料を一本選択して飲み干し、さらに一周するものです。ジュースは250ccの小瓶。きちんと飲み干してテーブルに瓶を置いてからの再スタートでない限り、フライングと見做されてペナルティがもう一周課されます。なお、ジュースは一本ずつ異なっており、早いもの順に好きなものを選ぶことができます。ところで今年の棄権者は……現在確認されただけで10人になります。一学年分に相当しますね。これだけでもいかに過酷なレースかは想像できるでしょう。」

さて、第一グループがウォームアップに入っております。順にご紹介いたしましょう。第1コース、高2F山本深雪、今年度の生徒会長です。第2コース、高1E細川祥子、陸上部員です。第3コース、高2A朝比奈美雪、弓道部員です。先日のクーデター時の活躍はまだ記憶に新しいところです。第4コース、中3B鬼頭しずか、仏教青年会員です。第5コースは先生代表、吉松武司先生です。国語の先生です。先生には予めインタビューしてありますので、ここでVTRをどうぞ。

『オレ、甘いもん好きだから。も、楽勝』

大きく出ております吉松先生。……さあ、各選手スタートラインに入りました。表情は大変微妙です。これから考えうる修羅場を思えば当然でしょう。

各選手一斉にスタートを切りました。会長わずかにリード。続いて吉松先生、高2A、中3B、高1Eと続きます。高1E余裕の表情です。このまま第1コーナーを抜けて直線コース、各選手ともペースは抑え気味、一気飲みのことを考えれば当然か、おっと吉松先生ピッチをあげた、あっけなく会長が2位へ脱落、そのままズルズルと後退！一気に最下位落ち！あるいはジュースに自信があるのか？第2コーナーから各選手団子状になってス

スタート地点に到着、この時点での順位は先生、中3 B、高1 E、高2 A、高2 F。おーっと！早い！吉松先生あっという間にペプシを飲み干して再スタート！手元の時計ではたった3秒です。鋼鉄のノドを持っているのか!?続いて高1 Eがキリンレモンをフィニッシュ、高2 Aが後を追ってスタート、高2 F少し遅れています……中3 Bが吹いた！戻しています！これは大きなロスだ！むせ込んでいる鬼頭さんを尻目に山本会長が今スタート、さて先頭集団は第3コーナーを抜けて直線コース、ペースダウンは否めない、先頭から先生、高1 E、若干開いて高2 A、さらに開けて高2 F、今ようやく中3 Bがスタートしました。……吉松先生転倒！どうやらわざとのようなのですが吉松先生、授業に限らず笑いを取ることは決して忘れません。転んだところからバック転をうってレース復帰、しかし3位に落ちました。体を張ったギャグの代償はあまりに大きい、……高2 A猛スパート！脇腹を押えている高1 Eとの間をつめていく、テールトゥノーズを狙っているのか？……いや、おーそとから！大外から上がってきた高2 A、第4コーナー中ほどで横に付けました。続く吉松先生との間は6馬身、後続の会長は転倒です。こちらは本気か、いま保健委員の担架隊が駆け付けます。2 A早い、1 Eをぐんぐん離している、2 A早い、2 A早い、コーラを飲んだばかりとはとても思えないダッシュぶり、そして今！高2 A組一着でゴール・イン……！続いて吉松先生がわずかにリードして高1 Eとほぼ同着、……中3 Bがゴールインして高2 Fはリタイアです。繰り返し今のレースの結果をお知らせしますと、一着高2 A朝比奈美雪、二着三着写真判定中、四着中3 B鬼頭しずか、高2 Fの山本深雪は転倒して棄権となりました。……馬券をお持ちの皆様は今しばらくお待ちいただき……」

……いつから競馬になったのだろうか。

インドア・アタック競技はこのあと始まった。校舎の中にセットされたマンターゲット（バネ仕掛けで飛び出す、お馴染みの奴である）で点数を争う。午前中の射的とは別の点で反射神経が求められる競技で、どちらかと言えばこちらの方が、生徒たちのウケはよかった。井村真知子は有明みどりと組んでこの競技に参加した。井村などはこの競技のために、わざわざ小田原の模型店まで出かけて、H&KのP7M8を買ったほどである。

「このコンパクトさと、目標を指さす感じで狙えるのがいいのヨ」

井村はそう、有明に自慢した。銃器に関してはズブの素人もいいところの有明は、ついていけないといった態だったが……。その有明は、使っているのがUZIだから、そこらへんの生徒と変わらない。やがて、彼女たちの順番が来た。

予め指定された階に行って、受付の先生に名前を申告すると、コースに入る。西部劇の好きな彼女は、まるで自分が西部の保安官でもあるかのように、腰を低くして廊下の奥にある「目標」の旗に近付いていった。

パタン！

最初の目標が飛び出した。井村はそれが、撃ってはならない「民間人」なことをすぐに確認したが、後ろの方でカバーに当たっていた有明の方は違った。

「いっやアーツ！」

ターゲットが飛び出すか飛び出さないかの内から、引き金を引き絞り、所構わず銃身を振り回した。当然井村にも弾があたり、彼女が失神する。実弾の場合はスタンガンと同じで相手を失神させるのである。当然彼女たちのチームは「任務失敗」、得点は最低の0点だった。パートナー選びの時点で、井村の負けは決まったようなものでもあった。

体育祭があけた夕方、伊藤早苗は夜食の買い出しで町から戻る途中の山道に、誰かが倒れているのを見つけた。自転車を降りて近寄ってみると、何と宇垣である。蹴られたようなアザが顔中にできていて、普段からよれよれだった第一種制服は手のつけようもなくボロボロになっている。

思わず伊藤はあたりを見回した。気の早いセミの鳴き声が、かえって不気味でもある。

「宇垣先輩……？」

声をかけながらうつぶせになっている彼女を助け起こそうとすると、奇妙な形に肩が持ち上がると同時に、宇垣が、聞いたこともないような、濁った悲鳴をあげた。

「バッカヤロー……！」宇垣の息が乱れる。「肩が……外れてん……だ……！」

「なにがあったんですか？」

伊藤の悪寒はいよいよひどくなる。対テロリスト用ゴム段の直撃にも動じなかった（とされる）宇垣を、こんな目に遭わせるとは……。

「ケ……」

宇垣は小声でうめくのが精一杯のようだった。耳を近づけると、健気にも彼女はもう一度言い直してくれた。

「毛唐にやられた。……両足もへし折られた……早く救急車呼べ！」

こういう時に限って誰も通らないものである。彼女は全速力で山を下り、公衆電話で救急車を呼んだ。

食堂に鍵のかかる8時まで、この事件は最優先の情報として生徒の耳に飛び込んだ。そして8時半、全生徒に講堂で山本校長から、正式に事件が伝えられた。

「多分、君達ももう知っていると思うが……高校3年の宇垣君が、何者かに襲われて、今、真鶴の中央病院で手当を受けている」

講堂内がざわめいた。それは知らなかった、というよりも、「伝言ゲーム」の中身と現実との相違によるものが大きかっただろう。

ざわめきの収まるのを待って、校長は話を続けた。

「宇垣君が諸君の人気ものだったことは、僕も知っている。一部には、普段からライバルの、県立小田原水産の仕業だと言いつらすものがあるらしいが、とんでもないことだ。このことについては今、真鶴警察署の刑事さんたちが、全力で調べてくれている。まして、お礼参りなどの類に至っては、言語道断である！早まった行動は、宇垣君の立場を悪くするだけだ。慎重に行動して欲しい。

それから、宇垣君のことには関係ないが、授業は明日も予定通り行なう。諸君の精進を期待して止まない」

続いて生活指導主任の鹿間教諭が壇上に昇った。

「校長先生も言うておられましたが……今から。たった今から今週一杯、危険を避けるために、生徒の諸君は外出禁止に……」

一斉に不満の声が上がる。鹿間の場合は、山本校長とは対応が異なった。

「静かにしろ。……静かにしろ。だ・ま・れ」

「黙れと言ってるのがわからんかっ！」

若手の担任たちが、各自受持ちの生徒に怒鳴りつける。急速に静かになって、鹿間は再び話しはじめた。

「外出は禁止。相手の狙いが分からん以上、次にお前たちの内の誰かが狙われんとも限らんから。……次に、生徒会長から報告があるので、そのまま待つこと」

山本深雪生徒会長が、壇上に出てきた。どことなく神経質なイメージの、全体的にやせた体つきは、こういう時には頼りなく思えてくる。

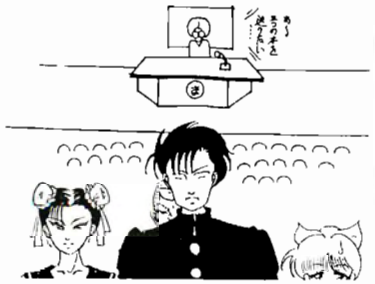
「生徒会からお知らせします。……小田原水産高校から、3年前に中止されたままの対抗戦を復活させようという申し出がありました」

また一斉にヤジが上がる。今回の宇垣襲撃事件は、そのための謀略ではないか？

若手の教師が怒鳴りつけて、また場は収まった。

「……栗田先輩、お願いします、すみません」

……しばらく間が空いたが、生徒の列の間から、榛名が出てきた。彼女が一渡り生徒たちを見回すと、もはや私語する生徒はただの一人もいなくなる。真鶴で一番権力があるのは誰か、という謎かけがしばしば校内で出る所以でもある。



「……えーと。この話は、実は4月からありました。それから、宇垣の事件については、小田原水産は無関係です。模型部同志の争いなら、高3で一線を外れた宇垣を襲うのは見当違いもいいところでしょう。それに、こういう形で宇垣を襲っても、小田原水産には何のメリットもありません。間違っても殴り込んだりしないように。……話を戻しますが、小田原水産との対抗戦は、7月20日、終業式が終わってすぐに行なわれる予定です。……これでいいかな？」

「ありがとうございました。生徒会からは以上です」

そうして、会合は終わった。

やがて外出禁止令が解けた。夕方6時までという制限付きだったが、今度は宇垣一家の生徒たちが、一般生徒たちも含めて見舞いの自主規制を申し渡すことになった。何しろ2000人からの生徒を抱える真鶴学園である。半分に見積もっても1000人、これが例え1/4だったとしても押しかけた日には、かえって宇垣は参ってしまう。まして、宇垣の勢力範囲は真鶴学園一校に止まっている訳では、必ずしもないのである。

それでも見舞いに行くという人間も、中にはいる。春日千明がその一人である。

小田原中央病院の4人部屋で、全身を包帯とギプスで固めたまま身動きも取れない宇垣の姿は、これが真鶴の総番長かと疑うばかりの哀れたらしいものであった。他に見舞いに来ているものはなく、春日は何のためらいもなく宇垣の側へと歩いていった。

「おう、春日か」彼女は元の元気を取り戻してはいた。「どうだ、だらしないだろう」

そんな事を自慢しても仕方ないのだが……

「本当、どうしたんですか一体？」

「毛唐だ」一発目から、宇垣は断言口調になった。「パーマ頭の、毛唐にやられたんだ」

「ケトウ？」

「外人だよ。知らねえのか」宇垣はあまり動かさない首を、少しだけ無理に横にして、春日の方に向けた。「丁度よかった、話し相手が欲しかったんだ。ぜんぶ話してやる」

それこそ、春日の願っていたことだった。

話によれば、それは彼女が真鶴市街のパチンコから帰る途中、坂の中程で「一息つけて」いた時に起こったらしい。相模灘に沈みかかっていた夕日を眺め、リラックスしていた彼女の背後（つまり山側）から、聞きなれない声で、名を呼ばれた。振り返るとそこには、短い鞭を持った、毛唐（彼女に言わせればアジア系の顔以外は全てひっくるめて毛唐扱いになる）の女がいた。歳のほどはそう、自分より少し上くらいだろうか。あまり強そうには見えなかった。ただ、気配を感じさせなかったことだけは、引け目を感じていた。

「何だ、てめえは」

宇垣が問うと、その外人は鼻で笑い、流暢な日本語でその日の自分の行ないを逐一指摘していった。いわく、起床時間を守らなかった。開会式に遅れた（厳密には遅れていない。しかし真鶴では5分前行動を励行しており、このことを言っていたと思われる）、競技を全てサボった、その上校内で喫煙した。昼寝していたところへ巡回にきた風紀委員に従わず、これを追い払った。パチンコに行った。そして今、喫煙している。最大漏らさず彼女の行動を記憶している事に宇垣は驚き、呆れ、そして怒りを覚えた。

「それがどうした！」宇垣は虚勢を張った。これで引いたら女がすたる。どこの馬の骨とも分からない、それも毛唐に負けたとあつては、手下に対しても申し訳ない。「やるってのか、この毛唐！」

当然「中指」付きである。このところここまでの怒気を覚えたことはなかった宇垣は、今や怒れる猛虎と化していた。

「Comeon, BITCH！」

英語が飛び出す訳である。両の手を握り締め、戦闘態勢を整える。

しかし相手の方は別に動じた様子はなかった。宇垣の様子を面白そうに見物し、再び鼻で笑うと、言った。

「私は売春婦などではない」

「それがどうしたア！」

宇垣はこらえ切れずに殴りかかった、が。

「……山猿め！」

一瞬、何が起こったのか、宇垣には見極めがつかなかった。右のほおに細長く鋭い刺激痛が走る。ともかくも宇垣の右アッパーは相手に確実に入っていた。しかし、相手にはこたえた様子はみじんもなかった。口が切れて血がにじんでいるにもかかわらず。

ついで脇腹に入った蹴りで、宇垣は数mは吹っ飛ばされた。

「……なるほど、猿には猿なりの言葉があるようだな」

「この野郎おお……！」

腹部に波打つ鈍痛をこらえて、なおも宇垣は殴りかかろうとしたが、かなわなかった。みぞおちに重いジャブが振じ込まれる。蹴りが続く。意識は持ち前の精神力で失わなかったが、これがかえって仇になった。後はもう、なす術もなく翻弄されるばかりであった。

これを、細大漏らさず説明したのである。手振りが可能ならもっとまとまっただろうが、何せ身動きが取れない身の上である。いきおい解説も回りくどいくらいになった。そして、解説が終わるころには、帰れば門限ギリギリになるころとなっていた。

春日が宇垣を見舞いに行っていたころ、菅原絵馬は来るべき小田原水産との試合に備えて、わざわざ小田原まで出向いていた。もちろん情報収集のためである。

私服に着替えた彼は、小田原駅からバスで10分ほどのところにあるその高校のすぐそばの、漁港の突堤におもむいた。そっちの方が主港から何から一望できそうな気がしたからである。適当なポジションを見つけて双眼鏡を取り出すと、……いた。空母を中心にした、真鶴でも普通見ることがないほどの大艦隊が、盛んに艦載機の離発着を繰り返し、また集団艦隊機動の訓練にはげんでいた。

——ミサイル食ったらイチコロだろうに……

彼は思ったが、さらに観察を続けた。結果得た答えは、「ミサイル被弾によるリスクをしのいで、近接対空火力の濃密化を図っているのではないか？」だった。即日、男子部艦隊の司令長官である松平洋和に報告したが、彼の方はそれを聞いて首をひねった。

「変だなあ……あそこはいつも、フネをそれぞれバラすんだけどなあ」

その一方で女子部艦隊の方は、連日武装偵察にやってくる小田原水産の小艦隊の撃退に

忙殺されていた。女子部校舎の方が小田原に近いので、これは仕方がない。例え6月一杯でその任を降りる女子部艦隊司令長官・栗田榛名の艦隊だとて、例外ではない。むしろ引き継ぎのために、実戦経験の機会が多い方が望ましいのである。榛名が座乗している大和改型戦艦「相模」を先導しながら、鳥海型重巡「摩耶」の艦橋で初雁つばめは思った。

提督先輩の指揮は、今回が最後かな……

その初雁も、対抗戦の後に金剛改型戦艦に移って、小さな艦隊を率いることが内定している。「弟子」に対する、榛名の最初で最後の「根回し」だった。

かつて国際交流部をつくろうとした頃の疲労感が、よみがえる思いだった。あれから女子部内でけっこう運動してきたが、反応の方はさっぱりだったのである。

やっぱり男子部もあたるしかないのかなあ……

そう思って、男子部の掲示板に行ってみた。事務室で許可をもらって、自分で貼る。

すると、どうであろう！効果は即座に現われたのである。

声をかけたのは東大鳳と榊裕の二人組だった。

「軽音部やるんですか？」

彼らは、今まで見た生徒たちの中ではずいぶんと好意的な方だった。

数日後、吹奏楽部の中に、「軽音班」ができた。

「すっかり遅くなっちゃった」

自分の予想より時間が早く進んでいたことに焦りを覚えつつも、春日は大急ぎで自転車を押していた。街から学校に通じる山道は、場合によってはこぐよりも押した方が早いのである。背後に控える山並みは、他よりもずっと早くあたりを薄暗くしていた。

いいかげん息が上がってきたころ、数少ない街灯の明かりに、奇妙な人影が浮かび上がった。心の中に警報が鳴らされる。観察すると……パーマ頭。目付きは日本人離れしていて……よく見ると、鞭のようなものを持っている。……まさか。

「風紀委員の春日千明だな？」

「で、でたあ！」

春日はためらいなく自転車にまたがり、全速で自転車をこぎはじめた。もちろん、下る方である。そしてその足で、手近の交番へ転がり込んだ。

学校側はこの事態を重く見た。門限は夕方4時までとなり、違反者はその後の外出が禁止されることになった。もちろんこのことは、春日が襲われかけた翌々日、榛名によって宇垣にも伝えられた。坂井法子が宇垣を見舞いに訪れたのはその直後である。時期が悪すぎたといえば、悪すぎた。しかし当の坂井には、そのことは知りようがなかった。

扉を開け、中をのぞき込んだ途端、坂井は宇垣のノミのような視線を感じ、硬直した。「出てけ！」宇垣は動かない体から、他の患者の迷惑にならない限界の大声で怒鳴りつけた。「帰れ、バカヤロー！」

誰が反抗することができたろう。坂井はそのままクルリと向き直り、何かに追い立てられるように逃げ出した。

真鶴の歴史というものは、奥が深いようで実は浅く、浅いように見えて実は深いものであった。調査対象を小田原市内の図書館にまで拡大した立花陽明は、そのことを嫌というほど思い知った。例えば、真鶴に古来より伝わる「貴船祭」に関する図書資料については山ほどあるのだが、真鶴学園についての資料は、むしろ校内の「あの」図書館の方が余程充実していた。女子部ができた経緯も気になって調べてはみたが、これとて戦後しばらくしてできたということぐらい、さして重要そうな気はしなかった。「これは」と思って調べてみようとする、大概の図書は年齢の関係で閲覧することができない。古書で痛み易いのか、「未成年者閲覧禁止」となっていたのである。

仮想敵機班の話は、たちどころに全校に広まった。何しろ「あの」栗田はるなが、じかにその空戦技術、必勝不敗のテクニクを教えてくれるというデマまでついて回ったのだからムリもない。

実際にテクを教えてもらっていた坂井法子は、もうイヤというほど「いじめ」に近い教授を受けていた。E型ファントムの後席に昇る段階から「遅い！」の叱責が飛ぶ。ラッターに手をかけたのは確かに坂井の方が早かったはずなのに、気付くともう前席でハーネスを締めている。あわてて転がりこむと既にエンジン始動を済ませて、タキシングが始まっていた。……そのままランニング・テイクオフ。満足に機首が上を向いていないうちに脚をたたみ、失速ぎりぎりの迎え角でズームアップする。もっと驚くべきことは、他の3人の機体も同じようについてくることだった。テクなどではなく、この鋭さが強さなのかも知れない、と坂井は思い始めていた。そう思っていると、またはるなからどやされる。

「何ボヤヤしてんの！敵きたよ！」

ハッとになってスパローのロックオンをかけようとするが、予告なしの5G旋回に振り回されて、側壁に強かに上体をぶつける。……いや、予告はあった。方向舵ペダルが動くから、操縦経験があれば気がつくはずだった。何がなんだか分からないうちに、横の方で標的機が火の弾になった。

「話になんない！」

はるなが毒付くが、それは動きのトロい坂井に向けてのものか、それとも動きの単調な標的機に向けてのものか。乗員の選定ははるなたち、長門や霧島、それに扶桑も携わっていたが、はじめ山ほどいた候補者は、一週間後には10人前後に減っていた。朝比奈や伊藤、それに坂井などは、辛うじて残っていた組だった。

今回のPC及び主要NPC（保留1）

中学 男子部 1年A組 東 大鳳
女子部 1年A組 (満月 聖良)
2年A組 有明 みどり 井村 真知子 白根 こだま 早坂 理絵

高校 男子部 普通科
1年A組 影月 多紀 榊 裕 立花 陽明
2年A組 (影山 翔)
3年F組 加賀 実
理数科
1年G組 エディ 光次郎 七瀬 晶羅
2年H組 沖田 悟 菅原 絵馬 鳩山 平和
3年G組 赤城 広義

女子部 普通科
1年A組 朝比奈 美雪 春日 千明
2年A組 伊藤 早苗 加越 京子 坂井 法子 初雁 つばめ
F組 永野 伊勢
3年D組 霧島 宏子 栗田 はるな 長門 洋子 扶桑 和子
F組 宇垣 麻美 如月 まどか 栗田 榛名
理数科
1年H組 江戸川 アラン 零

その他のリアクション

・東 大鳳

模型部ではM48A1パットンの班に移動。特殊戦部隊は存在しない。小田原水産との対抗戦が中止されていたのは、当時の校長がクーデター以後安全策を選択したためと判明。

・満月 聖良

特記事項なし。

・井村 真知子

YF-22を入手。人の少ない時間、空域を選んで操縦訓練を始めたので、人には知られていない。「あさぎり」級護衛艦への移動を内示されたが、今の「まや」の装備を自分でもとに戻すことが条件。

・早坂 理絵

特記事項なし。

・影月 多紀

模型部はMF、ベル222（ノーマル）にヘルファイア対戦車ミサイルを4発つんだものでそのまま承認。AH-1Gヒューイコブラの班に編入。

・榊 裕

ハリアーの練習を続けた。

・立花 陽明

放送委員会でコーナーが取れるように交渉。月に1回、しゃべらせてもらえることになった。テーマは自由（自分で書いてくれれば、予告の回に載せるよ）。

・エディ 光次郎

特記事項なし。

・七瀬 晶羅

「例のミラージュ事件」の張本人であることがバレて、赤城たちにくっつき油をしぼられる。アグレッサー候補では中の上で残る。

・沖田 悟

「電球爆発実験」を敢行するが、どこをどう間違ったか理科校舎のブレーカーを落とし、反省文提出の上3日間停学。

・菅原 絵馬

乗艦がヴァージニア級ミサイル巡洋艦に変更。艦名は「しよつづる」。他にスプルアンズ級が4隻付いた。

・朝比奈 美雪

特記事項なし。

・春日 千明

射撃の練習を始めた。

・伊藤 早苗

特記事項なし。

・坂井 法子

アグレッサーの使用機はフランカーにしようとする提案。しかし小田原水産の主力はF-4のため、F-4が採用されそうな状況。

校長から

今回から、一ターンの時間を変更します。一回一ヶ月になりますが、リアクションが出るのは一月おきです。間には放送委員会による（という設定の）中間報告をはさみます。つまり、どんなイベントが起こるのかを予め予告するのです。こうすることでプレイヤーサイドではキメ細かな呼び掛けが可能になるし、私ももう少し文章を練る時間が稼げる。イラストレーターもタイムリーな絵が描ける。いい事づくめ。「森戸」を知ってる人ならこれのもとネタが何か、一発でわかる……よね、やっぱり。

体育祭の方は面倒なので、上がってきたうち似通った種目はまとめて一種目にしました。どれがどれかは大体見当付くと思いますが、……「ソーダ飲み競争」は実在するそう。

あとは、前回の表紙。ただあのネタは、原作者も冷や汗ものの元ネタ暴露版。「キジも鳴かずに撃たれまい」とはこのことですが……宇垣なんかまんまじゃあないか。霧島と永野もバレバレ。挿絵も……ストⅡネタはやめいと言うに。これ許すと本一冊丸々ストⅡネタとか、そういう事態も起こりかねないんだし。で、これが起こると、いざブームが下火になった時に、後が続かなくなって売りがなくなって廃刊になると。ストⅡファン誌ならそれでもいいだけだね。

それから小耳にはさんだ情報ですが、坂井法子が目立ちすぎるという意見があるそうですね。私もこのことは前から気がついていたのですが、逆に言えば坂井さんのアクションのかけ方はかなり巧妙なのです。というのも、坂井法子というキャラクターの設定と行動が、結構じっくりいってるんですね。はるなにくつつくという事の是非はともかくとして、「彼女にしかできない」という立場が、確立されているのです。これが最大の理由。「目立ってないな」と思う人は、もう少し頑張っただけで自分の居場所を見つけて下さい。最後の手段としては、何かのついでに私とじかに談判するというのもあります。ただまずいのは、あまり漠然とした文章は困る、ということです。「まあいろいろと」なんてのは特に困るパターンでして、「こりゃ一体どうすりゃいいんだい」ということになってしまうわけです。悪い例。

「競技に出るならウケをねらって仮装リレーに出る。普段目立たないようなサッカー部はこーゆー時に目立つべきだとゆーわけでおもいっきり目立つような変なウケる格好をやるう～（中略）友達を作る。いっば～い作る」

仮装リレーに出る。結構。目立つ。そりゃ結構。変なウケる格好をする。大変結構。でも、どんな格好なんだか？友達を作る。いいよいよ、勝手に友達になっちゃって。

この種の「ツボを外した行動」が一番困るんです。この「どんな格好をするのか」が、リアクション上の描写には一番重要なのにね。で、だいたい、この種のツボを外した行動を書いてくる人ほど、こっちにかかる期待がでかい。逆に私の方は、ここまであまいな行動に対処できるほど能力はありません。……で、とどのつまりが「やっぱやめた」。張られた伏線はそのまま放置され、山積みになり、やがて自己矛盾を起こしはじめる……

お願いします。数は少なく構いませんから、「キメ細かい行動」を書いて下さい。「何を」「何に対して」「どういう訳で」「どのように」だけは最低限満たして欲しいのです。俗に言う「5W1H (When, What, Who, Why, How)」ですが、「いつ」にあたる部分は各キャラクター間の調整もありますから、別になくても大丈夫です。逆に「どのように」が抜けてる（あるいはそれに近い）と、まずお手上げです。これで「今より少しはマシ」なリアクションが出来上がるはず。別に影月君のアクションが「悪い例」になったのは、これを書いている日に届いたからにすぎません。もっとも、影月君の分はリアクションが書き上がってから届いてしまったので、入れられませんでした。悪い部分だけ目立たせてしまって、ごめん。

はっきり宣言しますが、私はそこらでPBMをやってる諸マスター程の能力はないのです。無能と言ってもいいです。自慢するこっちゃありませんが、こればかりは仕方ない。

今度は7月。学校行事は本編にもありましたが、小田原水産との対抗戦がまず一つ。ただしこれには、中学生は参加できません。そして、試合中はMD関係には手を触れることもできません。それから期末試験が二つ目。それに夏休みがありますね。あと、特別行事として、高1と高2の有志を対象に、カナダで英語研修が8月に行なわれます。他のキャラは8月の行動は必要ありませんが（学校から半ば強制的に追い帰されます）、参加する人はその旨書いておいて下さい。向こうではカナダ人がこっちでやったようなことをやります。日程の最後にはナイアガラの滝観光もやります。

生徒身上調査書

中・高普通科 1年D組

生徒氏名	立花 陽明	性別	(男)・女	国籍	日本国	生月日	1月17日
氏名	陽明	年齢	16歳	本籍地	愛知県春日井市		
保護者氏名	木村 博昭	性別	(男)・女	年齢	17歳		
保護者住所	[Redacted]						() 方

能力値		精神力	
体力			
腕力	5	知理解	15
脚力	10	記憶	8
走力	15	戦術	12
泳力	15	力戦略	13
瞬発力	10	洞察力	15
持久力	5	機転	10
機動性	8	決断力	7
耐久力	7	気力	10
柔軟さ	10	繊細さ	10
魅力	15	好奇心	5

写真

真に甘えびんのふたの様なメガネが特徴的なのは近視のせい。メガネをかいているとしゃべってると見えないはずとよくいいた事になる。目、ふともまが太い。鼻、少し高い。おまの毛 - 真ん中でかいていて、ただしかしげかし。

技能他	7-70検定2級
	水泳、5級(バタフライ種)
	青少年の主張全国大会北見県優秀賞

身長	179 cm	体重	68 kg
視力右	0.08(0.9)	左	0.06(0.8)
運	3	異性への関心	14

好きなもの	ゲーム、読書、音楽、フルトの演奏、世界史、寝る
	思考、話すこと、書くこと、漢文

級内役職	

嫌いなもの	数学、体育系教師、おしつけ、絵を書くこと、命令

部活動・生徒会	弁論部、MS部

この部分にアピールとか書くと、もっといいなあ。

次は春日千明さん。この指名も、
キウサイドでやってね。

MISSION DE-BRIEFING FOR MADCAT PRIME PILOT

GARVIE

Score 380, BattleMech Kills 0, Times Destroyed 1

Pilot	Mech	Score	Kills	Deaths	JAGUAR	SEIREN	GARVIE	BOGGY	ICHI	KICHIRAKU
JAGUAR	MadCat Prime	2111	3	1	0/0	720/1	10/0	202/0	772/1	594/1
SEIREN	MadCat Prime	741	1	2	238/0	0/0	310/0	628/1	102/0	362/0
GARVIE	MadCat Prime	380	0	1	33/0	242/0	0/0	179/0	0/0	5/0
BOGGY	MadCat Prime	2403	4	1	810/1	560/1	134/0	0/0	1146/2	72/0
ICHI	MadCat Prime	-522	0	3	106/0	306/0	142/0	214/0	0/0	30/0
KICHIRAKU	MadCat Prime	887	1	1	0/0	71/0	483/1	96/0	300/0	0/0
Clan Wolf		1000	9	9						

MISSION LOG 1:56 PM, MARCH 21, 1993

10 minute daylight encounter, visibility 1100 meters.

1:19	BOGGY's MadCat Prime fires and vaporizes ICHI's left torso!	7:15	SEIREN's MadCat Prime fires and severely ravages JAGUAR's lower torso
1:19	ICHI ejects as BOGGY reduces ICHI's MadCat Prime to rubble!	7:15	SEIREN's MadCat Prime fires and severely wounds JAGUAR's right torso
1:47	SEIREN severely wounds KICHIRAKU's right torso	7:20	JAGUAR's left torso is severely ravaged by BOGGY
1:48	GARVIE's MadCat Prime fires and severely damages SEIREN's center torso	7:24	JAGUAR's MadCat Prime fires and destroys KICHIRAKU's center torso!
1:48	GARVIE's MadCat Prime fires and severely ravages SEIREN's right torso	7:24	KICHIRAKU ejects as JAGUAR reduces KICHIRAKU's MadCat Prime to rubble!
1:59	KICHIRAKU's MadCat Prime fires and severely wounds ICHI's center torso	7:24	BOGGY severely damages JAGUAR's right arm
2:06	KICHIRAKU severely damages ICHI's right torso	7:27	BOGGY's MadCat Prime fires and severely ravages JAGUAR's center torso
2:07	JAGUAR's MadCat Prime fires and severely damages SEIREN's lower torso	7:27	BOGGY severely damages JAGUAR's right torso
2:07	JAGUAR's MadCat Prime fires and severely damages SEIREN's right torso	7:35	JAGUAR's center torso is severely <i>ravaged</i> by BOGGY
2:09	ICHI's right torso is severely ravaged by JAGUAR	7:35	JAGUAR's right torso is severely damaged by BOGGY
2:11	ICHI's right torso is severely ravaged by JAGUAR	7:37	ICHI severely ravages SEIREN's lower torso
2:11	ICHI's center torso is severely wounded by JAGUAR	7:38	ICHI's MadCat Prime fires and severely wounds SEIREN's lower torso
2:15	BOGGY's MadCat Prime fires and severely damages JAGUAR's lower torso	7:42	JAGUAR's left torso is severely wounded by BOGGY
2:25	JAGUAR severely ravages ICHI's left torso	7:42	JAGUAR's center torso is shattered by BOGGY!
2:29	BOGGY's left torso is severely wounded by GARVIE	7:42	JAGUAR ejects as BOGGY reduces JAGUAR's MadCat Prime to rubble!
2:29	GARVIE's MadCat Prime fires and severely ravages BOGGY's left torso	7:59	GARVIE's left upper leg is severely wounded by ICHI
2:36	KICHIRAKU's MadCat Prime fires and severely wounds ICHI's left torso	8:00	ICHI's MadCat Prime fires and severely wounds GARVIE's center torso
2:37	GARVIE's MadCat Prime fires and severely damages BOGGY's left torso	8:00	GARVIE's lower torso is severely damaged by ICHI
2:37	GARVIE severely damages BOGGY's center torso	8:03	ICHI's left torso is severely wounded by BOGGY
2:38	ICHI severely damages BOGGY's hip section	8:03	BOGGY severely wounds ICHI's lower torso
2:39	BOGGY's lower torso is severely damaged by ICHI	8:19	GARVIE's lower torso is severely wounded by SEIREN
2:40	BOGGY's lower torso is severely wounded by ICHI	8:20	SEIREN's MadCat Prime fires and severely damages GARVIE's right torso
2:55	BOGGY severely damages GARVIE's right torso	8:27	SEIREN's MadCat Prime fires and severely wounds GARVIE's left torso
3:01	JAGUAR's MadCat Prime fires and severely wounds KICHIRAKU's center torso	8:27	SEIREN severely ravages GARVIE's center torso
3:31	JAGUAR severely ravages ICHI's left torso	8:28	ICHI's MadCat Prime fires and severely ravages SEIREN's lower torso
3:33	JAGUAR's MadCat Prime fires and severely damages ICHI's right torso	8:28	SEIREN's right torso is severely ravaged by ICHI
3:33	JAGUAR's MadCat Prime fires and severely ravages ICHI's center torso	8:29	JAGUAR's MadCat Prime fires and severely damages BOGGY's center torso
3:39	JAGUAR vaporizes ICHI's right torso!	8:30	BOGGY's right torso is severely ravaged by JAGUAR
3:39	ICHI ejects as JAGUAR reduces ICHI's MadCat Prime to rubble!	8:30	BOGGY's left torso is severely wounded by JAGUAR
3:39	SEIREN severely wounds BOGGY's right torso	8:50	JAGUAR severely wounds SEIREN's left torso
3:39	SEIREN's MadCat Prime fires and severely damages BOGGY's center torso	8:50	SEIREN's center torso is severely wounded by JAGUAR
3:48	SEIREN's MadCat Prime fires and severely wounds BOGGY's lower torso	8:55	JAGUAR severely wounds SEIREN's lower torso
3:50	SEIREN severely damages BOGGY's right torso	8:55	JAGUAR's MadCat Prime fires and severely wounds SEIREN's right torso
4:13	KICHIRAKU's right torso is severely damaged by SEIREN	8:57	SEIREN's MadCat Prime fires and severely damages JAGUAR's right torso
4:19	KICHIRAKU's center torso is severely wounded by JAGUAR	8:58	JAGUAR's left torso is severely ravaged by SEIREN
4:24	KICHIRAKU's right torso is severely wounded by JAGUAR	9:01	ICHI severely damages SEIREN's left gun pod
4:24	JAGUAR severely damages KICHIRAKU's center torso	9:03	KICHIRAKU severely damages GARVIE's right gun pod
4:28	SEIREN severely ravages ICHI's left torso	9:05	KICHIRAKU's MadCat Prime fires and severely wounds GARVIE's right torso
5:07	SEIREN severely ravages GARVIE's right torso	9:05	KICHIRAKU's MadCat Prime fires and vaporizes GARVIE's center torso!
5:08	ICHI's left torso is severely damaged by JAGUAR	9:05	GARVIE ejects as KICHIRAKU reduces GARVIE's MadCat Prime to rubble!
5:08	ICHI's center torso is severely damaged by JAGUAR	9:30	BOGGY severely wounds ICHI's right torso
5:29	JAGUAR severely ravages BOGGY's center torso	9:31	BOGGY shatters ICHI's left torso!
5:29	JAGUAR severely damages BOGGY's right torso	9:31	ICHI ejects as BOGGY reduces ICHI's MadCat Prime to rubble!
5:33	ICHI severely damages SEIREN's center torso	9:44	BOGGY severely damages SEIREN's center torso
5:34	SEIREN's right torso is severely ravaged by ICHI	9:46	SEIREN's lower torso is shattered by BOGGY!
5:35	SEIREN's left torso is severely wounded by ICHI	9:46	SEIREN ejects as BOGGY reduces SEIREN's MadCat Prime to rubble!
5:46	SEIREN's right torso is destroyed by JAGUAR!	9:55	BOGGY's left gun pod is severely damaged by KICHIRAKU
5:46	SEIREN ejects as JAGUAR reduces SEIREN's MadCat Prime to rubble!	9:55	BOGGY's center torso is severely damaged by KICHIRAKU
5:54	JAGUAR's lower torso is severely ravaged by ICHI	9:56	KICHIRAKU's MadCat Prime fires and severely ravages BOGGY's right torso
5:55	ICHI severely damages JAGUAR's right torso	10:00	BOGGY's left upper leg is severely ravaged by ICHI
5:55	ICHI severely wounds JAGUAR's center torso	10:02	ICHI severely damages BOGGY's center torso
6:38	KICHIRAKU's left torso is severely ravaged by JAGUAR	10:04	ICHI severely damages BOGGY's right torso
6:46	BOGGY's left torso is shattered by SEIREN!		
6:46	BOGGY ejects as SEIREN reduces BOGGY's MadCat Prime to rubble!		
6:49	JAGUAR severely wounds SEIREN's left torso		
7:00	JAGUAR's lower torso is severely ravaged by SEIREN		

MISSION DE-BRIEFING FOR MADCAT PRIME PILOT

GARVIE

Score 1090, BattleMech Kills 2, Times Destroyed 2

MadCat Prime: 2

Pilot	Mech	Score	Kills	Deaths	KEN	METAL	ISO	HASHIMOTO	JAGUAR	GARVIE	KICHIRAKU	SEIREN
KEN	MadCat Prime	2206	4	2	0/0	605/1	602/1	38/0	36/0	768/1	280/0	904/1
METAL	MadCat Prime	1141	3	2	268/0	0/0	340/0	482/1	0/0	668/1	10/0	688/1
ISO	MadCat Prime	198	2	3	36/0	214/0	0/0	937/1	476/1	112/0	148/0	70/0
HASHIMOTO	MadCat Prime	1612	3	2	384/0	436/1	1016/1	0/0	166/0	148/0	466/1	126/0
JAGUAR	MadCat Prime	983	0	1	46/0	324/0	118/0	142/0	0/0	78/0	172/0	102/0
GARVIE	MadCat Prime	1090	2	2	587/1	568/0	478/1	207/0	117/0	0/0	117/0	18/0
KICHIRAKU	MadCat Prime	260	1	2	112/0	132/0	85/0	126/0	26/0	142/0	0/0	516/1
SEIREN	MadCat Prime	510	2	3	594/1	36/0	156/0	198/0	178/0	86/0	686/1	0/0
Clan Wolf		1000	17	17								

MISSION LOG 3:05 PM, MARCH 21, 1993

10 minute daylight encounter, visibility 1100 meters.

3:09 SEIREN's MadCat Prime fires and vaporizes KEN's right torso!	8:04 METAL ejects as KEN reduces METAL's MadCat Prime to rubble!
3:09 KEN ejects as SEIREN reduces KEN's MadCat Prime to rubble!	8:11 KICHIRAKU's center torso is destroyed by HASHIMOTO!
3:35 KICHIRAKU's MadCat Prime fires and shatters SEIREN's left torso!	8:11 KICHIRAKU ejects as HASHIMOTO reduces KICHIRAKU's MadCat Prime to rubble!
3:35 SEIREN ejects as KICHIRAKU reduces SEIREN's MadCat Prime to rubble!	8:21 ISO severely wounds SEIREN's right torso
3:43 HASHIMOTO's center torso is vaporized by ISO!	8:21 ISO's MadCat Prime fires and severely wounds SEIREN's left torso
3:43 HASHIMOTO ejects as ISO reduces HASHIMOTO's MadCat Prime to rubble!	8:25 METAL severely damages SEIREN's right torso
4:07 KEN vaporizes GARVIE's lower torso!	8:36 METAL severely ravages SEIREN's center torso
4:07 GARVIE ejects as KEN reduces GARVIE's MadCat Prime to rubble!	8:36 METAL severely wounds SEIREN's lower torso
4:07 SEIREN's MadCat Prime fires and destroys KICHIRAKU's lower torso!	8:37 METAL's center torso is severely ravaged by ISO
4:07 KICHIRAKU ejects as SEIREN reduces KICHIRAKU's MadCat Prime to rubble!	8:37 ISO severely ravages METAL's lower torso
4:10 HASHIMOTO's MadCat Prime fires and shatters METAL's center torso!	8:49 KICHIRAKU severely damages ISO's right torso
4:10 METAL ejects as HASHIMOTO reduces METAL's MadCat Prime to rubble!	8:49 KICHIRAKU's MadCat Prime fires and severely ravages ISO's center torso
4:59 ISO's center torso is vaporized by HASHIMOTO!	8:50 HASHIMOTO's right upper leg is severely damaged by SEIREN
4:59 ISO ejects as HASHIMOTO reduces ISO's MadCat Prime to rubble!	8:51 HASHIMOTO's MadCat Prime fires and severely damages JAGUAR's center torso
6:04 METAL destroys KEN's left arm!	8:51 JAGUAR's right torso is severely damaged by HASHIMOTO
6:49 METAL vaporizes HASHIMOTO's center torso!	8:52 KICHIRAKU's left torso is severely ravaged by ISO
6:49 HASHIMOTO ejects as METAL reduces HASHIMOTO's MadCat Prime to rubble!	8:52 KICHIRAKU's left torso is severely wounded by ISO
7:03 METAL's MadCat Prime fires and vaporizes SEIREN's center torso!	9:05 ISO's MadCat Prime fires and severely damages JAGUAR's left gun pod
7:03 SEIREN ejects as METAL reduces SEIREN's MadCat Prime to rubble!	9:06 JAGUAR's right torso is vaporized by ISO!
7:11 GARVIE shatters KEN's left torso!	9:06 JAGUAR ejects as ISO reduces JAGUAR's MadCat Prime to rubble!
7:11 KEN ejects as GARVIE reduces KEN's MadCat Prime to rubble!	9:08 GARVIE's left torso is severely damaged by KEN
7:20 ISO's center torso is severely wounded by HASHIMOTO	9:08 KEN severely damages GARVIE's center torso
7:20 ISO's right torso is severely wounded by HASHIMOTO	9:12 HASHIMOTO's left gun pod is severely damaged by SEIREN
7:27 HASHIMOTO's MadCat Prime fires and severely damages ISO's left torso	9:15 ISO's MadCat Prime fires and severely damages METAL's center torso
7:27 ISO's center torso is severely ravaged by HASHIMOTO	9:15 ISO's MadCat Prime fires and severely damages METAL's right torso
7:27 GARVIE's left upper leg is severely damaged by METAL	9:16 KEN severely ravages SEIREN's right torso
7:28 GARVIE's right torso is vaporized by METAL!	9:17 SEIREN's center torso is severely damaged by KEN
7:28 GARVIE ejects as METAL reduces GARVIE's MadCat Prime to rubble!	9:17 KEN's MadCat Prime fires and severely ravages SEIREN's lower torso
7:29 ISO's MadCat Prime fires and severely damages HASHIMOTO's center torso	9:20 METAL's center torso is severely ravaged by GARVIE
7:29 ISO severely damages HASHIMOTO's left torso	9:23 GARVIE's MadCat Prime fires and severely damages METAL's center torso
7:30 ISO severely ravages HASHIMOTO's left torso	9:23 GARVIE's MadCat Prime fires and severely ravages METAL's lower torso
7:35 KEN severely ravages ISO's lower torso	9:24 SEIREN severely ravages HASHIMOTO's left torso
7:37 KEN severely ravages ISO's lower torso	9:27 METAL's MadCat Prime fires and severely damages ISO's left torso
7:37 ISO's right torso is severely wounded by KEN	9:28 METAL severely damages ISO's center torso
7:43 JAGUAR severely ravages HASHIMOTO's right upper leg	9:28 METAL severely wounds ISO's lower torso
7:44 KEN's MadCat Prime fires and severely damages ISO's lower torso	9:33 SEIREN's MadCat Prime fires and severely damages ISO's right torso
7:46 KEN's MadCat Prime fires and severely wounds ISO's center torso	9:33 SEIREN severely ravages ISO's center torso
7:46 KEN's MadCat Prime fires and vaporizes ISO's right torso!	9:34 GARVIE severely ravages METAL's left arm
7:46 ISO ejects as KEN reduces ISO's MadCat Prime to rubble!	9:34 GARVIE's MadCat Prime fires and severely damages METAL's left torso
7:51 SEIREN's MadCat Prime fires and severely damages JAGUAR's left upper leg	9:34 GARVIE severely wounds METAL's left torso
7:52 SEIREN severely damages JAGUAR's lower torso	9:42 METAL's left torso is severely ravaged by GARVIE
8:00 SEIREN severely damages JAGUAR's right torso	9:42 GARVIE severely damages METAL's center torso
8:00 KEN severely ravages METAL's right foot	9:43 ISO's lower torso is severely ravaged by SEIREN
8:03 HASHIMOTO's MadCat Prime fires and severely ravages JAGUAR's right torso	9:45 SEIREN's MadCat Prime fires and severely ravages ISO's right torso
8:03 HASHIMOTO's MadCat Prime fires and severely damages JAGUAR's left torso	9:46 JAGUAR's MadCat Prime fires and severely ravages HASHIMOTO's right gun pod
8:03 SEIREN's MadCat Prime fires and severely wounds KICHIRAKU's center torso	9:48 JAGUAR's MadCat Prime fires and severely ravages HASHIMOTO's lower torso
8:04 METAL's left torso is severely damaged by KEN	9:48 JAGUAR severely ravages HASHIMOTO's lower torso
8:04 KEN's MadCat Prime fires and vaporizes METAL's center torso!	9:50 ISO's left torso is severely damaged by GARVIE
	9:50 GARVIE shatters ISO's left torso!
	9:50 ISO ejects as GARVIE reduces ISO's MadCat Prime to rubble!
	9:54 SEIREN's left gun pod is severely ravaged by KEN
	9:55 KEN severely wounds SEIREN's center torso
	9:55 KEN's MadCat Prime fires and vaporizes SEIREN's right torso!
	9:55 SEIREN ejects as KEN reduces SEIREN's MadCat Prime to rubble!

ホヤホヤしてたら、
入れるの忘れてました。

JAGUAR - 田中 KICHIRAKU - 吉楽
GARVIE - 菊地 SEIREN - 林
他に堀尾さんがいたけど、星付きなので
二の中には入れませんでした。

三 等 雑 居 室

真鶴。

☞現在こちらは「不滅のネイビーブルー4」の最終調整段階に入っております。すいませんが、「真鶴アルバム」は4月号からにして下さい。(同時進行なんです)そこで、できれば、SD・B読者による、キャラ人気投票なんぞやってもらえないでしょうか。キャラ出場回数(?)の参考にさせてもらいたいのので……。(千葉県・謎の黒幕)

③「真鶴アルバム」というのは、SDとBlow合併に際して「真鶴学園風雲録」の原作、「榛名とはるな」もBlowに入ってくるのに先立ち、アルバム形式で「これまでの粗筋」を追っていくものです。当然人気投票の対象もそっちの話の中になりますので、「風雲録」しか知らない人は現高1以上の内進生(D、F、G組)から選ぶこと。細かい要項はまた後で書きます。

☞それにしても、真鶴学園風雲録には驚かされました。まさか、学園物にSLGみたいなものがあるなんて。うーん、なんてナイスなアイデアなんだ。多紀はどーかは知らないけど、俺はSLGというか、こーいうのが好きだから、嬉しいス。

特に、SFが一番いい。最近TVで、新スタートレックがやっているし、小説では今「タイラーシリーズ」を読みあさっていますからね。うーん、この真鶴では、どう物語ができていくか、次回以降のリプレイが楽しみです。それと、できれば奏愁タイムズに載っている、Characters DICTIONARYみたいなのをやって欲しいス。(PC、NPC含めて、しかも簡単な紹介などもまじえて)途中参加なので、どーいう人がいるのか知りたいから。(中略)それと「攻撃機」と「戦闘機」の違いって……? (宮城県・阪野正樹)

③むーん、バタ誉めじゃないかこれは。CDの方は次回「如月まどか ナンのこれしき!」(仮題)で少しずつ対処していきましょう。「タイラー」については前も書いたけど……小説版は、今でも嫌いです。ただーし。TV版については認めよう。ユリコ・スター少佐が美人だから許す。タイラーに植木等の面影が見当らないから許す。絵の動きが最近のにしちやきれいだから許す。うん。

で、「攻撃機」と「戦闘機」の違い。今はストライクイーグルなんてややこしい機体もあるのですが、基本的には地べたを攻めるのが攻撃機、空を攻めるのが戦闘機です。

SD。

☞なんか気のせいか知りませんが、SDって人数少なくなっているように感じます。それとも、みんなが、登録の機体数を減らしているのでしょうか。でもこれからは機体の数によってコストがかかりませんから、今回のSDは機数が増えていることでしょう。やっぱり数が多い方が有利なのでしょうか。(京都府・木村博昭)

③……別に、数そのものは関係ないはずですが。ただ、ベテラン(大尉クラスから上)が多い方が、有利かも知れない。その分一人当りの戦果は減るけど。参加者数が減っているという君の見解は正しい。最盛期の半分以下だもんなあ。

☞今度の職場は前のにくらべて格段に忙しくなりました。前はだいたい毎日18:00~19:00に帰っていたのですが、今度は21:00はざらで、昨日などは帰ってきたのがAM1:00でした……というわけで、せつかく10機参加できる(参加費一定)ようになったのですが、今回のところは5機ということで……(奈良県・秋信敏男)

③……別に、無理に10機にしなくても。忙しいんじゃ、しかたないでしょう。……秋信さんシャープでしたっけ。家のテレビがシャープだったんですが、去年の暮れに10年目にしてついにダウン。……それで買ったのパナソです。すみません。今、家にあるシャープ製品は……15年前のダブルラジカセ(もちろんCDなし)、去年の電子レンジにホットプレート、このくらいかなあ。シャープ製は信頼性が高いんで、好きなんですけど。

☞さて、前回僕が申請したAD-4スカイレイダーですが、あの機体性能・値段ともAD-6と同じ、というのは一体何なのでしょう。AD-4のレーダーは戦闘で役に立たないんですか？おまけに、マイナーな機体の申請はイザベリアでは通らないような気がしてきました。何故だろう。

それはそうと、やっぱりアイゼンマオアアは悪魔がとりついてますね。だいぶ前の言葉ですが、日高 耕の「空母に乗せると必ず落ちる」という忠告が身に染みました。

(宮崎県・赤木崇敏)

㊦……ちょうどいいや。確認したいんですが、AD-4とAD-6の違いって、エンジンだけじゃありませんでしたっけ？今回の私信にあったAPS-19搭載型のADって、確かAD-5NLだったような気がするのですが……ついでに、-5NLは本家米軍でも整備が面倒であまり歓迎されなかったタイプだったと思うのですが、どうでしょう。

空母組が落ちる理由は簡単。もともと機体が少ないので、落ちた数が目立つだけです。あと、申請の方は、マイナーだから通らないんじゃないありません。「これでこの任務じゃどう考えても特攻機にしかならんだろ」という機体だから、落とされるのです。

コミケ。

☞私は最近のコミケについて疑問を持っています。それは参加者のモラルや売り手の姿勢についてです。BlowのNo.12で菊地さんが書いているような話を聞くとぞっとしません。そもそもコミケというか同人というのは「楽しむ」事を前提にしたものだと思います。私にとっては、早朝から並ぶこととか、開場と同時に人をおしのけて走り、自分のお目あてのブースにダッシュするなどというのはとても楽しんでいとは思えません。もちろん、行列や開場と同時に走るなんてのは、よく行なわれていることです。コンサートしかり花博しかり、万博しかり。しかし、これらのイベントがコミケと一線を画しているのは、入場してからです。コンサートなどでは入る前はドタバタするけれども曲が始まればみんな一緒にいますし「みんなで楽しもう」という雰囲気生まれます。

ところが、コミケはどうでしょうか。人気ブースに長蛇の列で押し合いへし合い、われ先におおと殺気立ってるし、時にはガードマンが止めに入る始末。となりのブースはとぼちりを喰うし、マナーの悪い奴らなんか注意しようものなら暴言を吐きますし……とても和気あいあいなんてものじゃないです。

このマナーの悪さは売り手も同様で、下手に売れている所などはこの傾向が強いのですが、接客態度が悪い！この手の連中はいっばしのプロキドリで「売ってやる」としか思っていないし、買い手によってコロっと態度を変える。ちょっと顔の売れている相手（私は全然知らんが、この世界で名の売れているとおぼしきサークル関係者やそのサークルの常連）なら下手に出る。一見さんお断りかここは。

私に言わせれば「そこまでして買う必要があるのか」です。

売る方は楽しんで作って、買う方はその楽しさを共有するべく、気持ちよく買うというのが本来の姿ではないでしょうか。それ以外に入る要素などないのです。

それが、何故最近聞かれるようなコミケの状況になっているのかが私には理解できません。別にその本を買わなくとも大したことはないでしょう。確かにその本はとてもおもしろいものであるかもしれません。ですが、その前に一人の人間であってほしい。自分を捨てて本を買ったところで何も残りはありません。いくら人気のあるサークルの本を買ったとしてそれがどうしたというのです。イラストが良くて内容も濃いものかもしれないけど、その本を買うために支払った代償はそれよりももっと大きいと思いませんか。

すでに、自分だけがよければいいという時代は終わっています。本を買う為にお金を支払っている以上はそこに契約が成立しているのです。お互いに気持ちいい買物をしましょうよ。

それとあともう一つ。ものを売っている以上はそれに対して責任を負って下さい。大きければ大きいほどにね。もちろんBlowの読者に対しての言葉ではありませんが……

(京都府・木村博昭)

㊦先に書いてこう。木村君はみんなの意見も待っているような。

で、確かに、理詰めで行くと木村君の言ってる事は正しい。ただしあの集団ヒステリーの中では、全ての「正論」が「空論」になるといっても過言じゃありません。特にいわゆる「新館1F」という世界は、そうです。他のところ、特に洋楽系の所なんかは、そりゃもう感涙ものです。新館1Fが「ガヤガヤ」なら、洋楽のところは「サワサワ」だし。

何でコミケが「ああ」なのか、ということについて私の見解。例えば東急百貨店の渋谷本店や阪急デパート梅田本店がバーバリーの最高級スーツ／コートを1日だけ限定100着、安値で売ると言ったら。あるいはストーンズのコンサート、武道館のS席を、全部自由席（あるいは立ち席）にすると言ったら。おそらく世のおばさん連やロックファンなんかは、コミケのあの光景をそっくりそのまま、それぞれの場所で繰り広げてくれることでしょ。つまりそういうことなのです。「何はともあれそこへ行って何か持って帰る」という、その行為そのものに目的があると言ってもよいでしょう。例えばバーゲンセールで、他でも同じくらいの値売っているような安物のTシャツを、それがバーゲン品だからというだけの理由で他人と争奪戦を繰り広げるオバさんに、理論的説明を求めても、相手にされないか罵倒されるだけです。事前事後に関わらず。「手に入ったからよいざます」といったところでしょう。それにそのTシャツが、結局着なくて捨てることになっても「バーゲン品だからよいざます」というわけ。

あとは、コミケに行く連中の「甘え」によるところが大でしょうね。連中（私も人のこた言えませんが）は普段、社会から様々な圧力を受けて、萎縮している訳です。それが、同族ばかりが集まった、あの「コミケ」という社会に入った途端、「こいつら仲間だから」ということで、「自分」をむき出しにする訳です。すると、普段は演技でも何でも、社会に順応しているように行動できますが、この「自分」の状態では訓練ができてないので、思考回路が幼児並みに退化するのではないのでしょうか。おそらくはこれも本人の無意識下に発生する現象ですから、当人に自覚と内省を求めるとは困難です。下手にやると当人の自己崩壊を招きかねません。ちょうど、風船を圧縮しつづけると割れてしまうように。だからあるいは、コミケはコミケとして、彼らのガス抜きであるという解釈の方がよいのかも知れません。「楽しむ場」ということではなくてね。

昼飯ばんざい！

㊦このごろ、私を「いちめ」る女友達がいる。私と仲の良い3人である。昼食の楽しいひとときを終えると、教室は決まって女子の私を入れた4人と、クラスの嫌われ者の男子1名（ブラックホールのような暗さである）と、数名いるだけ。

そして、私への「いちめ」が始まる。

「私、今日、お弁当に竹の子が入ってたの」

「私はうなぎ」

「私は竹の子」と……

私は竹の子とうなぎがきらいである。とくに、竹の子！

私の女友達3人は、口々に言いながら、私にすりよってくる。当然私は逃げる、追いかけられると、昼休みはさんざんである……

走りすぎると、はきそうになる……それがこまる……

（神奈川県・あずち）

㊦私ゃ竹の子好きだけど。カツ節でダシとってコンニャクと一緒にみりん醤油で煮込むと、これがうまいんだ、もう。ウナギも嫌いとはまたぜいたくな。世にはサンマの蒲焼さえ口に入らない下宿生もいるというのに。

○空技廠TRENNY-NOW！

1 巨人初試合で勝ち星！（菅原）

……別にいいけど。ただ横浜大洋ホエールズのあのユニホームは何とかならんかなあ。

前の方が、見慣れてることもあって好きなんだけど。

お茶会報告

・大阪

まあ、予想はしていましたが、見事にポシャりました。あと、二度と交通科学館でイベントを開くことはないはずです。いくらなんでも、あの展示内容はないでしょう。おまけにまた館内改装をやるらしいし。何がひどいかって、まずEF58のどてっ腹ブチ抜いて、そこに「ひどい」としか言いようのないシミュレーターを二台も押し込んでるんですよ！おかげでその車体は造りものにしか見えない（あれはレッキとしたモノホンです）し、機関車の中身がどうなっているかも分からなくなっちゃったし。問題の「ブツ」も、内容がしっかりしてればまだ許そう。どこの世界に正面の画像で斜め向いた絵を流すシミュレーターがある？ガキは喜んでるみたいだったけど、私の目はごまかせない。あれは絶対、客室内からホームビデオで撮った画像です。ちゃんと運転台から正面向けて撮れよJR西日本。その二。改装の予定内容が許せない。581系のカットモデルをなんで排除する？あれは国鉄の「輸送力時代」の象徴的な車体じゃないか。あれだって貴重なモノホンなのに。

私が長距離旅行する理由だった「プロメテア」のプライベも今後はないし（宿の確保もできてとても楽だった）、関西地区でのイベントは、もう減多にあることじゃないでしょうね……やるとしたら今度の夏に梅小路だな、多分。

・横浜

バトルテックについては、戦闘記録をそのまま載せるという手抜き工事をやったので、各自英和辞典を用意の上、翻訳して解説するべし。ストII大会はジャギア田中がやってくれるそうです。あとは2時間半に渡ってクイズゲームをやっていましたが……ほとんど俺と田中だけだったからねえ。見てた人、すまん。金まで出してもろて……

飛行機見物の話

4月24・25日に、厚木で基地祭があります。で、例によって例の如く空技廠関係者で群れなして見物に行こうと思うのですが。行くのはもちろん25（日）。朝9時半集合、場所は横浜駅2Fの相鉄改札口。新幹線で来るという人は、朝9時に国鉄横浜線、菊名駅の改札口（一つしかないのですぐ分かる）でも構いません。新横浜から一駅（待ち時間込みで大体5分くらい）です。これだと現地には大体10時半ごろつけるので、ほとんどのショーが見られます。超音速フライパスは多分ない……と思うけど。来るという人は、待つ都合があるので前日までにはお知らせ下さい。解散は一応17時の予定です。

真鶴学園人気投票の話

さっき書きましたが、こっちは人気投票のシステムについて。以下の要領で行ないます。

- ①対象は「榛名とはるな」に今まででてきたキャラに限る。当然、「真鶴学園風雲録」にのみ出ているキャラは対象外のこと
- ②投票者1名あたり5名まで書けるのこと
- ③それぞれ点数をふる。1位10点、2位8点、3位5点、4位3点、5位1点のこと
- ④必ず順位をつける。同着はなしのこと
- ⑤組織票はぜんぜん構わない。ただし、これが絵に描かれる回数に反映されるので、自分に素直になるのこと
- ⑥締めきりは4月20日のこと

新PBMの話

田中“ジャギア”真人が、BlowでファンタジーPBMを始めることになりました。それに先立ってテストプレイヤーが欲しいそうなので、その告知。

募集人員 とりあえず6名
連絡先 菊地のとこ

参加料金 200円

交換条件

Mig-29ファルクラム。旧ソ連が冷戦中に開発し、西側諸国の主力戦闘機F-16やF-18、トーネード等に対抗し得る強敵として80年代からマークされ続けた制空戦闘機である。

冷戦後は最新鋭の旧ソ連製兵器が兵器市場に出回るようになったが信頼性が低いせいか買い叩かれることが多いらしい。(随分古い機体だがマッハ2の出るMig-21戦闘機が200万円で売られていたこともあった)国民の食べるものにも困る国だからなりふり構ってられないのだろうがこのMig-29にまつわる変な話を最近聞いた。

タイ政府がロシアに輸出した大量の米の代金の代わりにMig-29の引渡しを要求したというのだ。アジアでは近年軍拡が冷戦終決後も関係なく進められていることが背景にあるし金だと貸し倒れの危険性があるからこんな要求をしたのであろう。(米国の小麦輸出で実証済み)しかしロシアはこのタイからの要求を断ったという。ちなみに以前フィリピンもバナナと兵器を交換しようと持ちかけたことがある…。

無視できぬ

TVゲームを考える上でソフトとして避けて通れぬもの、それがカプコンのストIIである。今や社会現象とも言えるものであるのだが(某暴力事件然り)「日本」という名の経済団体においてもその存在は大きいものようである。

今月上旬、メガドライブの製造元であるセガがカプコンからストIIの供給を受ける業務提携を結んだという記事が某新聞に4段に渡って掲載された。内容は国内外で六百万本の売り上げを誇る(私もその被害者の一人)スーパーファミコン版のストIIに対抗してストII'を移植するという。(未確認情報ではNECのPCエンジンにも供給されるらしい)記事ではストIIのゲームとしての魅力云々やカプコンの増収益前期比2倍などが連ねてあった。

社会面や総合面でTVゲームの弊害云々なら「まあ大衆の考えはこんなものだろう

な」と考える私であるが事実上大手の新聞が「あの超大作がついにXXに移植決定！」などと経済面で報じるのを見ると少々複雑な気持ちになる。ストIIだからなのだろうか？

宣伝

最近派手なコスチュームで英国のロンドンを徘徊する者が現われて静かではあるが話題を呼んだことがあった。風貌は妙に大きな光る目と鼻がなく額から後頭部にかけてモヒカンらしき物体がある独特のマスクを被り、赤のラインの入った体にフィットするスーツを着ている。なんとウルトラマン(初代)である。

これはイギリスで未来物TVシリーズ「ウルトラマン」のビデオ販売宣伝パフォーマンスの一環だとか。でもあまり期待しない方がいいような気が私にはする。なぜならこのウルトラマン、カラータイマーがついていないのである。(英国版はついてないのだろうか?)

迷答

私には変な癖がある。人に求められた問いを全く予期せぬ答で回答するというものである。(単にボケと言えは済むことなのであるのだが…)

ある席で「卒業式に唄った歌は何か？」ということが話題になったのだがある者が「巢立ちの歌」と答えたのを私は「スダチの歌」と勘違いし変に盛り上がったことがあった。一応補足するが、スダチとはあの刺身の時に汁を醤油に垂らして食べる柑橘類(みかんとかゆずの類)のことである。

またある時(英熟語の) *make in*とは何かと唐突に聞かれたのだが、私の答えを聞いてその者は沈黙してしまった。私の答えは「ジャガイモの品種の名前」であった。嗚呼…。

ドキッ！

公園などで乳房をあらわに乳幼児に授乳させる若い母親がたまにいるが男性としては一瞬ぎょっとさせられちょっと視線に困るものがある。アメリカでも事情は同じらしいがフ

ロリダ州である女性がレストランで自分の赤ん坊にお乳を与えていたところ、店に公然わいせつ罪にあたるとして追い出されたという。これを受けてある下院議員が「公衆面前での乳幼児授乳の認可」をわざわざ立法化させたという。日本の政治屋連中の活動と比べて雲泥の差である。

双壁

渡米経験者が語るところによると米国の空港のトイレは芳香剤がバンバン使ってあってとても経済の困窮を感じさせない豊かさを誇示しているという。細かな心配りという面でアメリカ人の心遣いの篤さを感じた気がするが、逆に先進国の空港のトイレの汚さで世界で双壁を成すのはロシアと日本だという。おいコラ●●空港！空港使用料2千円も取っておいてあの便所は何なんだ！なめんなよコラ！

S O S

アメリカの救急車のダイヤルは「911」なのだがある時、妙な声で救い？の声が入ったことがある。オペレーターが対応したが何だかつまった鼻をすするような怪音波が受話器の向こうで発せられ続けるのである。

あとで分かったことだがこれはある家でペットとして飼われていたブタが電話をいたずらして短縮ダイヤルに設定してあった911を偶然呼び出してしまったことが原因だという。怪音波はブタの鳴き声だったのである。しかしこの事件、ただのいたずらとも言えなかったかもしれない。なぜならこのブタ君の飼い主の口癖は「言うことを聞かないとベーコンにしちまうぞ！」

蛇足だが動物好きのアメリカ人の間ではブタはペットとしてかなりポピュラーな部類に入る。何しろ飼い主の間で「ブタ愛好会」なるものが存在するくらいである。イヌネコサルトリは言うに及ばず、ヒョウやオオカミも珍しくはない。（特に最近はおオカミを飼うのがブームのようである）その上なんと象を飼う者（もちろん個人で）もいるとか。加えてニューヨークには動物専用の教会が実在し、日曜日には大勢の飼い主が自分のペットを連れて訪れ、ミサが行なわれるという。

天誅

スペインのマドリードである郵便局員（氏名不明）が悪魔にささやかれたのか自分の仕事場にあった郵便小包を盗んで自宅に持ち帰ってしまった。開封してみると運悪くこの小包みはテロ組織が仕掛けたレターボム（手紙爆弾）だったのだ。言うまでもなくこの郵便局員と巻き添えを喰った妻は爆死寸前の重傷を負い、窃盗がバレて警察にも御用となってしまった。

なおこのレターボム、文字どおり封筒に入るだけのプラスチック爆薬で机1つまると消し飛ばすぐらいの威力があり、専門家に手紙を調べてもらおうと仕掛けられてなかったとしても1回につき75~120万円ぐらいがかかると言われているという。

御礼申し上げます

香港のビジネスマンの妻、グレース・ゲルジャリさんが夫を自動車電話で呼び出したが受話器を取ったのは聞き慣れない声の男だった。男は「私はプロの車泥棒だ。この車は大変美しいのでとても嬉しい」と、礼をグレースさんに言ってきた。グレースさんが驚いて車を返すよう要求したが、男は「もう中国へ向かう船の上だ。返すことはできない」と突っぱねられてしまった。

挙げ句の果てにこの自動車泥棒、この車の自動車電話で外国に国際電話をかけたらしく、グレースさんのところに法外な電話料金請求書が送られてきたという。

修業

20世紀前半に非暴力主義で抵抗運動を続けた今や偉人の名に恥じないマハトマ・ガンジーは生涯禁欲を誓い、自分の意志力を鍛えるために毎晩裸の女性に囲まれて睡眠したという。

見物

ベトナムのホーチミン市（旧サイゴン）のある橋が崩れ、50人が転落する事故があり、9人が死亡する惨事が去年あった。これは身投げしようとしていた少女の見物に詰め掛けたやじうまだったのだが、身投げした少女の方は無事救助されたという。

このページは見ての通り、「三等雑居室」を使うための案内です。かつて数多の企画が雑居室内で浮かび上がり、そして泡のように消えていきました。とりあえず、今のところは次のようなものがあります。

① 三等雑居室

今でこそただの抜き打ち私信暴露コーナーになり下がっていますが、これとて本来は読者の意見交換、討論の場として用意したものなのです。使い方は文字通り「何でもアリ」。

② 三等食堂

これは、読者の皆さんが、個人的に「これはいい!」と思ったアイテムを挙げ、その名称、その使い方、その長所、その価格などを報告するもの。

③ 空技廠TRENDY-NOW!

とにかく身近なところで起こったニュースを、適当にピックアップしてこっちに送る。すると、菊地が独断と偏見に基づいて順位を振り、勝手なコメントをつける。

④ イラスト

単に送られてこないだけです。できれば無地の紙にかいて欲しい（罫線が汚く写るケースが多い）、それだけです。



空技廠国勢調査

氏名 _____ 年齢 _____ 歳 男・女
フリガナ _____

住所 〒 _____

電話 () _____ 職業 _____

※このまま住所録に使用しますので、なるべく正確に書いて下さい。

※コピーして使用のこと。

航海日誌

菊：進級なのよん。70単位なのよん。ドイツ語IBまた落としたのよん。

田：駅でバルログそっくりの外人発見。どんな顔か正面を拝んだら半辮髪だった……

Crew

編集長：菊地研一郎／編集補佐：宇垣麻美

田中真人／筆者：岬当麻 紺野紫楼

正宗征士／絵：井村和正 孝行始（脱稿順）

Blowers第14号

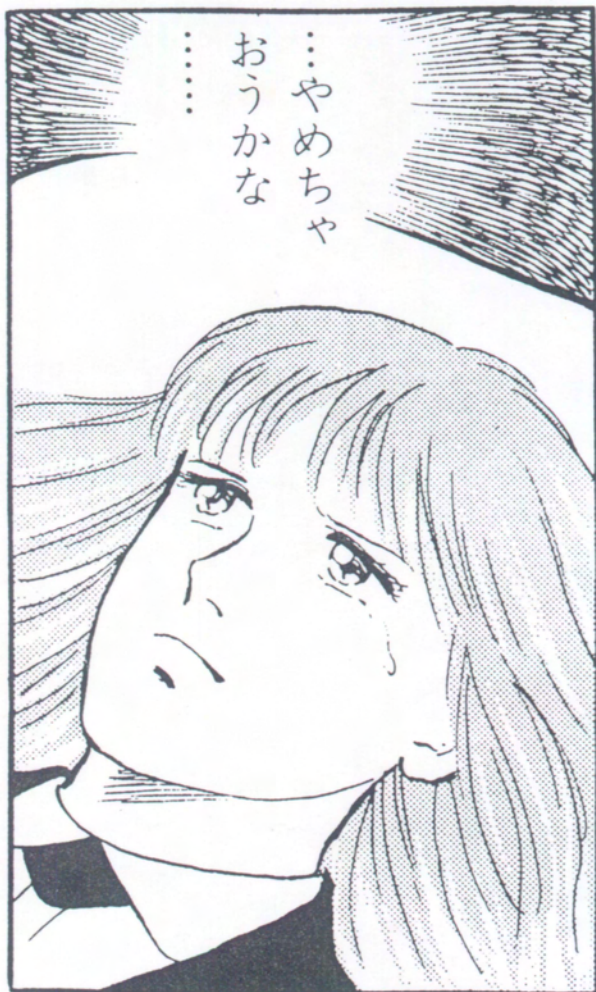
第4巻第3号（通巻15号）

平成4年3月31日発行

代価400円（送料別）

編集人・発行人：菊地研一郎

発行所・印刷所：「空技廠」



本誌記事の一部または全ての無断使用を禁ず

表紙：テーマは14なんだけど、わかる？

孝行始・画

次号「だめ、もうダメ……」は

4月末日発行予定です。

原稿・投稿メ切は4/20（厳守）です。

今日の裏表紙も意味深だねえ

古切手おくれのこと

突然何だと思われるかもしれませんが、空技廠では使用済み切手の収集をはじめます。これはボランティア活動に協力するためのものです、主に手の不自由な人のリハビリなどに使用されるようです。金種は何でも構いません。また、外国のものでもOKとのこと。ただし、次の事項を守って下さい。

・周囲に台紙（封筒とか）を1cmほど残す

これは恒常的に行ないますので、締め切りはありません。